別 6
9
226

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

七島莚　筑後国三潴郡下田蘆塚ニ村　日本地誌提要七

七島莚　豊前国上毛郡久路土村　日本地誌提要七

○華莚の商況　神戸に於ける華莚の商況を聞くに昨今頗る好景氣にて豊後製並物五圓以上五圓五十錢（二十間捲き一本）ダマスク一名畦織六圓以上六圓五十錢春高織下等三圓廿錢上等四圓位にて外商は何程にても買ひ取る摸様なるも如何せん目下品物拂底にして其の需用に應ずると能はざるのみならず前々約定の品さへ約束通りに手渡し兼ぬる有様にて殆んど當惑し居ると云ふ元來豊後製の華莚は夫の琉球表を製する七島草を原料とせるとなるが近頃内地より於ける疊表の需用頓に増加して何程製造するも引き足らざるより連れて相場も好く産地の製造家は何れも疊表の一方に力を注ぐ有様なれば華莚は常に欠乏を告げ居れりされば本年九月以後去る十一月渡し及び十二月渡の賣込約定品ロに四万本の多きに達し居るも今日迄に受渡の濟みしは僅に其の五分の一に過ぎざるべしと云ふ尤も三備製のものは疊表の影響を蒙らざるも去る七月の洪水にて原料の藺草、流失若しくは腐敗の害を蒙りしより自然原料に乏しきため九月以後已に五六万本の約定高に達したるも受渡の濟みたるは矢張豊後物と同じ割合にて目下の相場は並物五圓卅錢ゟ五圓七十錢ダマスク八圓綾莚九圓位なりと

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

シチタウ

「シチタウ」ハ漢名莞草（本草綱目）ニシテ、自然分科莎草科（シペルス、テゲチフォルミス Cyperus tegetiformis, Roxb.）ニ属ス。羅甸名ハ Cyperus tegetiformis, Roxb. ナリ。九州ニ多シ。豊後ヨリ産出スルモノ殊ニ有名ナリ。支那、東印度ニモ自生アリ。フッカー氏ノ英領印度植物編ニヨレバ、東印度ナルベンガル、アッサム、マドラス、及ブンデルカンド諸地方ニ産スト云フ。莞工、三稜アリ。二ツニ割リテ席ニ織ル。上、中、下ノ三品アリ。上、中ノ二品ハ畳表ニ用フ。

琉球表是ナリ。豊後ヨリ制出スルモノヲ豊後表ト云フ。下品ハ雨覆又ハ荷物ノ上ハ苞等ニ用ユ。薩州七島ニテ多ク之ヲ製ス。故ニ「シチタウ」、「十、シマサウ」ノ諸名アリ。佛人フランシェ、ザヴァチエ両氏同著、日本植物目録第二冊ニ此植物ノ名出ヅ。又クント氏ノ莎草科編ニハ Cyperus（シペルス、グラ、メッチ Cyperus Gula-Methi, Schult. ノ諸名ヲ擧グ、ベンガル産トアリ。蓋シ「グラ、メッチ」ノ種名ハ該地ノ方言ヨリトリシモノナラン。又同書ニ莞工手滑ニシテ三稜ナリ、下

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ミホガマサウ

陰午
牛草 四月

部ハ鞘ヲナセリ。花序ハ六穂乃至十一穂、擬総ニテ、
ヲナシ、毎穂八乃至十二花ヲ着ケト見ヘタリ。

伊藤篤後織形
篤古郎記

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

ニホンガマサウ

Pedicularis resupinta, L. 沙 351.

其二 四月根

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

塩竈草

馬新蒿トス馬新蒿ハ本草ニ馬先蒿ト云陸機カ
說塩竈菊ニ近シ然レトモ塩カマ菊ハ葉香薫ニ
似テ微シ長ク黄色ヲ帯ニ鋸歯深ク對生ス細苣
叢生ス高サ尺餘八月淡紅花ヲ開テ少シ着綿躍

草ノ花ニ似タリ葉蒿數ニ不近一種山中ニ蒿數
アリ春苗ヲ生ス菊葉ニ似テ缺刻深ク細ニノ青
蒿黄花蒿ノ葉ニ仿佛タリ高ニ尺枝ヲ分テ秋紅
蘂花ヲ開ク形塩カマ菜ニ似タリ花謝ノ実ヲ結
フ旧根ハ枯レ角小豆角ニ比スレハ短ト雖狀能

合リ是馬新蒿ナラン○塩竈菜ハ佳品ナレモ水
陸ノ間ニ生ス培壌容易ク凡沢草ノ中記スル者皆
同シ心ヲ用ヲ栽ル本ハ花ヲ著テ壮ク

乙巳二

馬先蒿　シホガマギク　一名ゴマ久井　龍神
大熊

○重臺馬先蒿陽地ニ生ス一所ニ三五莖叢リ生莖四久
シ尺許葉一所ニ四葉ツヽ互巻付テ五六重ニ及フ形狀
馬先蒿ニ同クメ微細ク緑色ヲ帯フ六月梢ニ三四
寸許ノ穂ヲ成花ヲ開馬先蒿ノ花ニ似テ弁短ク淵ク紅
葉色甚美也花モ重臺ヲナシ四五花ヅヽ一所ニ附キ五
七重ニナル奇品ナリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ニホンマサウ　ニホンマギノニア
トサカバナ　ヨドリサウ 江州
海ヒ古久佐 紀伊 トサカグサ

馬先蒿

花葉トモニ芹ニ似テ高サ二三尺ニ至ル山野ニ生ズ本州ノ高山ニ多シ
春ヒモヲ生ズ葉ハ高サ四五寸ニスギズ
陸前神割ノ長谷ニ多シ
陸前川俣ニ於テコレヲ採ル　北海道

馬先蒿今案牟末乃比利久

帝國圖書之印

虎ノ門

馬先蒿

之保加末支久　乃古支里 江州
生久慈郡處々名山好生陽地春月生苗四五月
茎高五六寸漸々分小枝而甚茂其葉長二寸許
糙渋而有鋸齒形似榆葉而對生其茎葉俱有短

毛秋月葉間開紅紫花形似眞紅花謝結莢
莢結子

大正二年三月寄贈

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

伊藤篤太郎著

日本産ほがまぎく属説

REVISION

OF THE

JAPANESE SPECIES

OF

PEDICULARIS, L.

BY

TOKUTARO ITO.

NAGOYA, JAPAN:

DECEMBER, 1893.

シホガマサウ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

（錦窠翁九十賀壽博物會誌上巻抄出）

REVISION OF THE JAPANESE SPECIES OF PEDICULARIS, L.

By Tokutaro Ito.

日本産をはがまぎく屬說

伊藤篤太郎

明治二十四年、余植物採集ノ爲メ、飛、信等、諸州高山ヲ跋渉シ、隨テ得ルトコロノ珍種奇品、鮮尠ナラズ。頃者、小暇ヲ得テ、架上ニ腊葉一束ヲ探リ、之ヲ飜覽スルノ際、偶マ唇形科、をはがまぎく屬ノ一種、矮生ノ品ヲ得タリ。是レ余ガ嘗テ信州駒嶽嶺上、岩石間ニ於テ、採集スルトコロニシテ、紫唇、短莖、亦愛翫スルニ堪タリ。乃チソノ名稱ヲ檢セムト欲シ、群籍ヲ渉獵シ、所藏ノ腊葉ヲ繙飜シ、遂ニ日本産をはがまぎく屬說一篇ヲ得タリ。杜撰、固

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

ヨリ觀ルニ足ラズト雖モ、直ニ之ヲ爛紙籠底ニ投ズルニ忍ビズ。敢テ玆ニ掲載スルコトナセリ。

古來、我邦本草諸家ノ云ほがまぎく屬ニ關スル諸説、寡カラズト雖モ、今著名ノモノヲ擧グレバ、寺島安貞翁ノ和漢三才圖繪濕草部(一)ニ曰。鹽竈(シヲガマ)草(サウ)、俗稱本名未レ詳、按鹽竈草ハ高サ六七寸、葉似(テ)ニ小菊ノ葉ニ無シ切叉ニ、秋開レ花、淺赤色而小シ。

小野蘭山翁著、本草綱目啓蒙、濕草部(二)ニ曰。馬先蒿、云ほがまぎく、のこぎりさう江州、一名、虎麻莧蔚(本草蒙筌)。山中ニ多ク生ズ。向陽溪側ニ多シ。春宿根ヨリ苗ヲ生ジ、高サ二三尺葉ノ形榆(ニレノ)葉ニ似テ長ク、岐深シテ、細鋸齒、毛茸アリテ、枝葉繁布ス。八月、葉間ゴトニ花アリ、大サ六七分、豆ノ花ノ形ニシテ蹙扁(ナシヒラタ)スルガ如シ。紅紫色、花後ニ小扁莢ヲ結ブ。長サ二三分ニシテ尖レリ、内ニ細子アリ。(下畧)。

飯沼慾齋翁著、草木圖説草部(三)ニ圖説出ヅ。説ニ曰。云ほがまぎく。山中向陽ノ地ニ多シ、宿根苗ヲ生ジ、方莖高二尺餘、葉厚剛、榆葉ニ似テ尖リ、邊緣鈍頭、鋏刻鈍細鋸齒ヲナシ、細刺毛アッテ糙澁ス。葉腋枝ヲ出シ、梢頭ニ重

疊鱗次シテ花ヲ出ス。萼一葉畫様、毎萼鱗様、一小葉アッテ擁レ之、花、唇様ニシテ、帽細長扁圓、両裙相接シテ勾リ、略牛角ノ狀ノ如クシテ、端末、一小口ヲ開キ、柱頭コヽニ出、唇瓣圓大、頭凹鋏シ、更ニ一圓小片アッテ塡之、全花ノ形、壓シ扁メタル如クシテ正直ナラズ。色紅紫、子室柯子狀、一柱長ク帽外ニ出、雄蘂四莖、短長アレドモ、殆ド齊シ。又一種白花ナルアリ。按、Pediularis羅、Luiskruid蘭、ノ族ニ可收、殊ニ第一種ノpalustris者、最相近ガ如シ、可考。

岩崎灌園翁著、本草圖譜濕草部(四)ニ、此屬ノ植物、數種ノ圖説ヲ揭グ。説ニ曰。

蘆蒿、はんくわひ、あざみ、又はなくるまともらふ、野州日光山、武州高尾山、其外諸國山頂にあり。宿根より生ず。葉の形、小薊に似て刺なく、又馬鞭草葉に似て大なり。苗葉紅紫色を帶ぶ。莖高さ二三尺許、梢に花を開く。形、馬先蒿(しほがまぎく)の如くにして紅色なり。後短く尖りたる角を結ぶ。先輩よめな、又きつねあざみ等を充るは非なり。

馬先蒿、云ほがまぎく、又たぶりさう(尾州)ともらふ。山野の陽地にあり。宿根より生ず。葉は地榆(われもかう)の一葉に似て、鋸齒細なり。莖糙澁にして、高さ二

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

尺許り、秋、梢に花を開く、形大豆花に似て紅色、後、尖りたる角を結ぶ、葉味辛く、香氣、菊に似たり。禹錫說くところ是なり。又白花の物、野州日光山にあり。

一種、木曾御嶽山の產、四葉對生、紫花の物。

一種、同產、細葉淡紫の物。

水谷豊文翁ノ說ニ曰。

をはがまさう、をはがまぎく江戸、のこぎりさう江州、とさかばな、おとりさう江州上野、とつさか木曾藪原、波々古久佐輔仁本草、とさかぐさ、馬先蒿、虎麻莧蔚本草、〔釋名〕馬新蒿唐本、馬尿蒿本經、練石草別錄、爛石草同上、虎麻。〔中畧〕花葉共ニ美ナリ。ハマデ見ルト云フ意ニテ、鹽竈草ト名ク。養老セウガ嶽、濃州神淵ノ長谷ニ產ス、濃州、川浦三坂ヲ越シ、北ヘ下ル處ニモアリ。をはがまさう一種、御嶽田ノ原、三笠山產、白花ヲ開ク。莖葉共ニ紫色ナリ。

よつばをはがま、四葉對生シ、莖紫色、梢頭ニ紫花アツマリ開ク。

以上ノ諸說ヲ概括スレバ寺島良安、小野蘭山ノ二氏ハ此屬ノ植物、單ニ

一種ヲ擧ゲ蘭山翁ハこーほがまチーほがまぎくノ條ニ附載セリト雖モ別屬ナルニヨリ省ク。飯沼氏ハ二種、岩崎氏ハ四種、白花ノ者、野州日光ニ產ストアルハ、蓋シねぞしほがまナリ。水谷氏ハ五種はんくわいあざみヲ算入セリ。ヲ記載セリ。

又右諸說中、をはがまぎくヲ取リテ、漢名、馬先蒿ニ充ツルモノ多シト雖モ、余ハ却テ此說ヲ非トスルモノナリ。乞フ支那ノ本草諸書、及ビ西籍ニ徵シテ之ヲ證セム。

本草綱目濕草類、馬先蒿ノ條ニ曰。(五)馬先蒿。練石草並生南陽州澤。華曰。葉大如莞蔚。花紅白色。二月八月采莖葉陰乾用。八月九月實熟。俗謂之虎麻是也。一名馬新蒿。所在有之。莞蔚苗短小。其子夏中熟。二物初生極相似也。禹錫曰。按爾雅云。蔚。牡蒿。註云。即蒿之無子者。詩云。匪莪伊蔚。陸璣云。牡蒿也。二月始生。七月開花。似胡麻花。而紫赤。八月生角。似小豆角。銳而長。一名馬新蒿是也。

救荒本草ニ曰。苗高一二尺。莖葉如青蒿葉似斜蒿葉而細。又似蛇床子葉。梢間開花。紅赤色。鮮明可愛。花罷結角。子似蔓菁。角長二寸許。微彎。中有子。黑色。似王不留行子。云々。

植物名實圖考、濕草類(六)ニ馬先蒿ノ圖ヲ揭グ。長角ノ狀、大ニ をはがまぎ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

くニ異ナリ。說ニ曰。馬先蒿。即角蒿。本經。中品。陸璣詩疏。鼈。牡蒿。三月始生。七月華。華似胡麻華。而紫赤。八。月爲角。角似小豆角。銳而長。一名馬新蒿。據此。則馬新蒿。即角蒿。唐本草。角蒿係重出。李時珍。但以陸釋牡蒿爲非。而不知所述形狀。即是角蒿。則亦未細審。今以馬先蒿爲正。而附角蒿諸說於後。

同書長編ニ蜀本草圖經ヲ引テ曰。葉似蛇床。青蒿等。子角似蔓青。實黑細。秋熟。所在皆有之。

又云。角蒿。唐本草註。角蒿。味辛。苦平。有小毒。主甘濕鼈。諸惡瘡者。註。葉似白蒿。花如瞿麥。紅赤可愛。子似玉不留行黑色。作角。七月八月採。

右諸說中、ソノ花、胡麻花ニ似タリト云ヒ、又、角長二寸許ト謂フニ至リテハ、玄ほがまぎく實ノ短小ナルト大ニ異ナリ。

更ニ西籍ヲ按ズルニ、露人ブレットシュナイデル氏ノ支那植物說(七)ニ馬先蒿ハ紫葳科ニ屬スルIncarvillea sinensis, Lamk.ニシテ、和產無シ。隨テ之ヲ玄ほがまぎく(Pedicularis resupinata, L.)ニ充ツルハ非也ト說ケリ。又、英人ファーブス、ヘムズレー両氏ノ支那植物目錄(八)ニ據レバ、馬先蒿(Incarvillea sinensis,

Lamk.)ハ北京近傍、及ビ山西省カイチョウヨリキンチョウ間ニ產ス。滿州ニモアリ。英人ドン氏(九)ノ說ニ、コノ植物ハ高サ一二尺、葉ハ重鱗狀ニシテ、互生シ、花ハ粗ナル穗ヲナシ、ぢぎたりす花ニ似テ深紅色、莢ハ細長平匾ナリ。長サ二寸餘、恰モきさゝげノ莢ノ如シト云ヘリ。是レ本草綱目等ノ諸說ト能ク符合スルモノニシテ、玄ほがまぎくトハ大ニ相異ナリ。是レ馬先蒿ヲ玄ほがまぎくニ充ツルノ說ヲ余ノ非トスル所以ナリ。從來、本邦ニ行ハレタル和產ノ植物ヲ取リテ。直ニ之ニ漢名ヲ充ツルノ時代ハ、今ヤ既ニ經過シ去レリ。是レ恰モ十六世紀ノ頃、歐州ニ於テフジクス、バウヒン、ブルンフェルス、ロベル、クルシウス等、諸氏ノ自國ニ產スル植物ヲ採リテ、之ヲ希臘、羅馬ノ古籍ニ收錄セル植物ノ名稱ニ充ツルニ孜々タリシト、ソノ轍ヲ同フスルモノナリ。

更ニ眼ヲ轉ジテ歐米植物學者ノ著書中、玄ほがまぎく屬ニ關スル諸說ヲ擧グレバ、スプレンゲル氏ハ一千八百二十三年、玄ほがまぎく屬譜ヲ著シ、四十九種ヲ說明セリ。續テブンジュ氏ハ一千八百四十三年コノ屬ノ植物ヲ研究シ、二千八百四十六年、更ニ之ヲ增訂ノ九十九種ヲ得タリ。一千八

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

百三十五年、ベンタム氏モ亦、コノ屬ヲ精檢シ、更ニ一千八百四十六年、之ヲ再檢シ、百〇九種ヲ說明セリ(十)。爾後、露國マキシモヴヰツチ氏ハ中央並東部亞細亞所產ノ珍種、數多ヲ得テ、一千八百七十七年ニ、之ヲ增訂セリ(十一)。而シテソノ記載スルトコロノ植物ハ合計百五十三種ナリ。

其他ニホハガマギク屬ニ關シ、最モ參考ニ供スベキ著書ハ、ジョセフ、フッカー氏ノ英領印度植物誌(十二)ニシテ、同地所產ノ品、三十七種ヲ揭載セリ。就中十四品ハ新種ニ屬ス。又エーサ、グレー氏ノ北米植物編(十四)ニハ、三十一種ヲ記載セリ。而シテ四種ハ氏ノ新檢出ニ係ル。一千八百八十七年、スタイニンゲル氏(十五)ハ歐州所產ノ品、四十七種ヲ詳說セリ。一千八百八十八年マキシモヴヰツチ氏ハ更ニホハガマギク屬說(十六)ヲ著シ、此屬ニ隸スル植物ヲ悉皆蒐羅シテ二百五十種ヲ收錄セリ。氏ハ此屬ヲ大別シテ五部トナシ、更ニ之ヲ小別セリ。今、產地ニヨリテ氏ガ記載セル種數ヲ擧グレバ、歐州ニ四十八種、亞細亞西部ニ十八種、西比利亞及ビトルケスタン ニ五十九種、印度ニ四十九種、支那帝國ニ九十七種、日本ニ八種、米國ニ

三十一種ナリ。

一千八百九十年、英人フォーブス、ヘムズレー兩氏ハ共著、支那植物目錄(此書ニハ蒙古、韃靼及ビ西藏ノ植物ヲ記載セズ)(八)ニ於テ新ニ十種ヲ說明シ、總計九十四種ヲ擧ゲタリ。又一千八百九十一年、プレーン氏(十七)ハ印度所產ノ各種ヲ精檢シテ六十九種ヲ詳說セリト聞ク。然ドモ余ハ未ダ之ヲ親見スルヲ得ズ。

西籍中、コノ屬ノ日本ニ產スルコトヲ始メテ記載セルハ、米國文理兩學「アカデミー」ノ記錄第六冊(一千八百五十九年發刊)ニ登載セル、エーサ、グレー氏ノ日本植物說(十八)ニシテ、即チ尋常ノホハガマギク(P. resupinata, L.)一種ヲ揭ゲタリ。又英人ホッジソン氏ノ長崎箱館滯在漫錄ノ附錄トシテ揭載セルウヰリアム、ブッカー氏ノ日本植物目錄(十九)ニモ、ホッジソン氏ノ採集セルモノトシテ、同種ヲ載セタリ。續テ一千八百六十六年、蘭人ミケル氏ハソノ著書、日本植物編(二十)中、三種ヲ擧ゲ、前種ノ外、新ニP. Sceptrum Carolinum, L.(はんくゎいあざみ)及ビP. japonica. Miq.(よつばホハガマ)ノ二種ヲ增補セリ。一千八百七十六年、佛人フランシュ、サヴァチュ兩氏ハ、ソノ共著、日本植物目錄第一冊(二十一)ニ於テ、單ニミケル氏ノ記載セル三種ヲ擧ゲタリ。

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

一千八百七十七年、マキシモヴ(ヰッチ)氏ノ亞細亞東部ゑほがまぎく屬説(十一)、世ニ出ヅルニ當リ、忽チ增加シテ六種トナレリ。P. Chamissonis, Stev. var. japonica, Maxim P. verticillata, L. var. refracta, Maxim.; P. yezoensis, Maxim.; P. resupinata, L.; P. rubens, Steph. var. japonica, Maxim.; P. Sceptrum Carolinum, L. 是ナリ。就中、一種ハ新種ナリ。一千八百七十九年、英人ビセット、ムーア兩氏(十一十一)ス日本所產、ほんくわうあぎみハ紅花ヲ開クニヨリ、歐州ニ產スル P. Sceptrum Carolinum, L. トハ異ニシテ、一新種ナルコヲ考定シ、P. gloriosa, Bisset et Moore ノ新稱ヲ命ゼリ。同年フランシェ、サヴアチェ兩氏ハ日本植物目錄第二冊(二十一)ニ於テマキシモヴ(ヰッチ)ヲ、ビセット、ムーア諸氏ノ説ニ隨ヒテ此屬ヲ訂正シ、別ニ P. Keiskei, Franch. et Sav. (おほばゑほがま)ト稱スル一新種ヲ追加セリ。一千八百八十一年マキシモヴ(ヰッチ)氏(十二)ハ更ニ此屬ノ植物ヲ增訂シテ前キニ P. verticillata, L. ノ一變種トナセシつくゑゑほがまヲ更ニ新種トナシ、P. refracta, Maxim. ノ新名ヲ附セリ。續テ一千八百八十八年、ゑほがまぎく屬説(十六)ヲ著シ新ニ P. venusta, Schang. ヲ附加シ、且嚮ニ P. rubens, Steph. ノ一變種トシテ説明セルこまゑほがまヲ更ニ分チテ一新種トナシ、P. apodochila, Maxim.

ト命シ、本邦所產、ゑほがまぎく屬ニ八種アルコトヲ説ケリ。理科大學植物標品目錄第百四十五頁及ビ第二百八十五頁ニハ、此屬ノ植物、八種ヲ揭載セリ。

終ニ臨ミ、日本產ゑほがまぎく屬ノ各種ヲ列擧スルコト左ノ如シ。

（第一）おほばゑほがま　一名みやましほがま　せりばしほがま（大學標品目錄）

Pedicularis Keiskei, Franch. et Sav.

本草圖譜、第十四卷第八葉表左圖、一種木曾御嶽產細葉淡紫ノモノ。

（產地）野州日光ニ產ス。余ハ信州御嶽（田ノ原ニ多シ）、及ビ駒嶽ニ於テ之ヲ採集セリ。

錦嶺翁ノ説ニ曰ク「おほばゑほがま、一名みやまゑほがま、駒嶽、御嶽ニ產ス。不齊翼葉、對生シ、白花七月開ク。高サ尺餘、水谷翁ノ説ニ御嶽田ノ原、三笠山ニ產ス。白花ヲ開キ、莖葉共ニ紫色ナリ」。

本草圖譜ニ此植物ノ花ヲ紅紫色トナセルハ蓋シ誤ナラム。露國マキシモヴ(ヰッチ)氏モ亦、紅色ナリト記載セリト雖モ、是レ恐クハ非ニシテ、本草圖譜ノ圖ヲ見テ斯ク説明セシモノナルベシ。余ハ御嶽ニテ此花ヲ撿セシニ、白色ニ微綠ヲ帶ベリ。

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

（第二）えぞおほがまゝ一名しろばなしほがま

P. yezoensis, Maxim.

（産地）野州日光ニ産ス。余ハ信州駒嶽（七合目ノ邊ニ多シ）、及ビ飛州乘鞍嶽ニ於テ之ヲ採集セリ。北海道ニモアリト云フ。

白花ニシテおほばおほがまノ花ニ類似シ。葉ハ尋常ノおほがまぎくニ近シ。

（第三）おほがまぎく　尋常品一名ーほがまさう（江州）ささかぐさ　とさかばな（木曾薮原）　とさか（木曾薮原）　のこぎりさう（江州）　おどりさう（江州上野）

P. resupinata, L.

本草綱目啓蒙第十巻第十三葉。草木圖說第十一巻第五十九葉。本草圖譜第十四巻第七葉裏。

（産地）諸國山中ニ生ズ、極メテ普通ノ品ナリ。北海道、及ビ千島ニモ産スト云フ。

（第四）よつばおほがまゝ

P. Chamissonis, Stev. var. japonica, Maxim.

本草圖譜第十四巻第八葉表右圖、一種木曾御嶽山ノ產、四葉對生、紫花ノ

モノ。

（産地）余ハ飛州乘鞍嶽及ビ信州駒嶽七合目ヨリ頂上、並ニ池ノ邊ニテ多ク採集セリ。又御嶽五合目ヨリ頂上、池ノ邊ニ生ズ。六合目、田ノ原ニハ肥大ノ品アリ。

余ガ駒嶽ニテ採集セル標本中、極メテ痔小ニシテ、別種ノ如ク見ユルモノアリ。

（イ）えぞのよつばおほがまゝ　宮部氏千島植物調査目錄（多羅尾忠郎著、千嶋探檢實紀第百十二頁）

P. Chamissonis, Stev.

（第五）ゆきわりおほがまゝ（新名）

P. amoena, Adams.

（産地）千島。

（第六）くるまばおほがまゝ　大學標品目錄ニ記載セル植物ハ、余之ヲ親見セザルニヨリ、此種ナルヤ否ヤヲ知ルヿ能ハズト雖モ、ソノ當否ニ係ラズ、くるまばーほがまノ名稱ハ殊ニ此種ニ適セルガ故ニ姑ク此稱ヲ用フ。此種モノ。

P. verticillata, L.

（産地）千島ウルップ島。

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

余ハ獨乙產、本種ノ標品ヲ參考ニ供セリ。

（第七）つくしまゝほがま（新名）

P. refracta, Maxim.

（產地）九州。

支那ニモ產ス。

（第八）ちしまゝほがま（新名）

P. euphrasioides, Steph.

（產地）千島。

（第九）みやべゝほがま（新名）余ハ此植物ノ採集者ナル、宮部金吾氏ガ姓ヲ取リテ、此種名ニ冠シ、以テ氏ガ北海道ニ於ケル植物調查ノ功勞ヲ表示ス。

P. venusta, Schang. var. Schmidtii, T. Ito.

（產地）北海道。

（第十）こまゝほがま（新名）

P. apoaochila, Maxim.

（產地）信州駒嶽ニ產ス。又南部ニモアリト云フ。

本種ハ明治二十四年八月、信州駒嶽跋涉ノ際、嶺上ニ於テ余ノ採集セル

モノナリ。多年生植物ニシテ、高サ僅ニ二三寸、葉ハかはらざいこ葉ニ似テ、更ニ缺刻深ク、且重鋸齒ヲナシ、長サ一二寸ニ過ギズ。夏月花梗ヲ抽ジ、頂ニ五七花ヲ攢簇ス。紅紫色ニシテ美麗、亦愛玩スルニ堪タリ。花冠唇形、下唇三裂、四雄一雌蘂ナリ。

按ニ、此品ハ露國マキシモヴヰッチ氏ガ、嘗テ本邦南部產ノ標本ヲ見テ、Pedicularis apodochila, Maxim.ト命ゼシモノト、蓋シ同種ニシテ、ソノ詳說ノ如キハ、露國聖彼得堡府帝立學士會院生物學雜誌第十二冊第九〇七頁（一千八百八十八年刊行）ニ揭載セリ。

余ハ先年東京大學ニ於テ、同ク駒嶽產ノ標品ヲ見シコトアリ。此標品ハ單ニ果實ヲ有シ、花ヲ具ヘズ。やまゝほがまノ名稱ヲ附シアリシト覺ユ。然レドモ此名ハおほばゝほがまノ一名トシ混ジ易キガ故ニ、今、假ニこまゝほがまノ新稱ヲ命ジ、以テ識者ノ訂正ヲ竢ツ。

此種ニ稍ゝ類似セル植物ニシテ、同ジク矮生ノ品、西比利亞北岸（ピトレカイ）ニ產ス。此品ハ去ル明治十二年、有名ナル瑞典國博士ノルデンスキヨルド氏北氷洋創航ノ偉業ヲ達シ、歸途、我邦ニ寄航セルニヨリ、余

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ハ錦寓翁ト倶ニ濠船ヴェガ號ニ到リ、同船員諸氏ト高サ僅ニ三四寸、植物學ノ際、面接ノ千五就奇品ナリ。十ハ、余ガ九號ノ惠ムトコロニシテ、高サ僅生ス、實ニ四寸、穗長ク、白毛ヲ綴リ、密生セル十花ヲ敷ニ寸、頂ニ至リ乃チ一寸半ノ間ニ於テ、之ヲ記シ置ケリ。

（第十一圖はんくゐいおぎみ）

P. gloriosa, Bisset et Moore.

本草圖譜第十四卷第六葉裏。

（產地諸國山地ニ生ズ。）

士ルヘルマン氏（Dr. Kjellman）ノ惠ムトコロニシテ、高サ僅一寸半乃至二寸、頂ニ數十花ヲ綴リ、白毛ヲ密生セル、實ニ奇品ナリ。

P. lanata, Willd. var. alopecuroides, Trautv.

蓋シ一寸半乃至二寸、頂ニ數十花ヲ綴リ、白毛ヲ密生セル、實ニ奇品ナリ。

掌ニ於テ、之ヲ記シ置ケリ。

明治十二年十二月十一日發兌ノ郵便報知新聞第二千五百十九號ニ、同船員諸氏ト高サ僅ニ三四寸、植物學ノ際、面接ノ

PEDICULARIS, L.

1. P. KEISKEI, Franch. et Sav. Enum. II, p. 459; Maxim. in Mél. Biol. XII, 1888, p. 822, t. 2, fig. 37. ICON. JAP.: Iwasaki, Honzō Zufu, XIV, fol.8 recto, fig. sinistra.

NOMINA JAP.: Ohba Shiwogama; Miyama Shiwogama; Seriba Shiwogama.

Hab. in Japoniae principali insula: prov. Shinano, montibus Ontaké (*Sukeroku Midzutani! Keisuke Ito! Yudzuru Ito! T. Ito*) et Komagataké (*Keisuke Ito! Yudzuru Ito! T Ito*); prov. Shimotsuké, monte Nikko (fide *Maximowicz*).

Maximowicz is mistaken in describing the colour of flowers in this species as "corollae roseae", possibly derived from the figure in Honzō Zufu. I examined fresh flowers of this plant in Mount Ontaké, and found that they are white with greenish tinge!

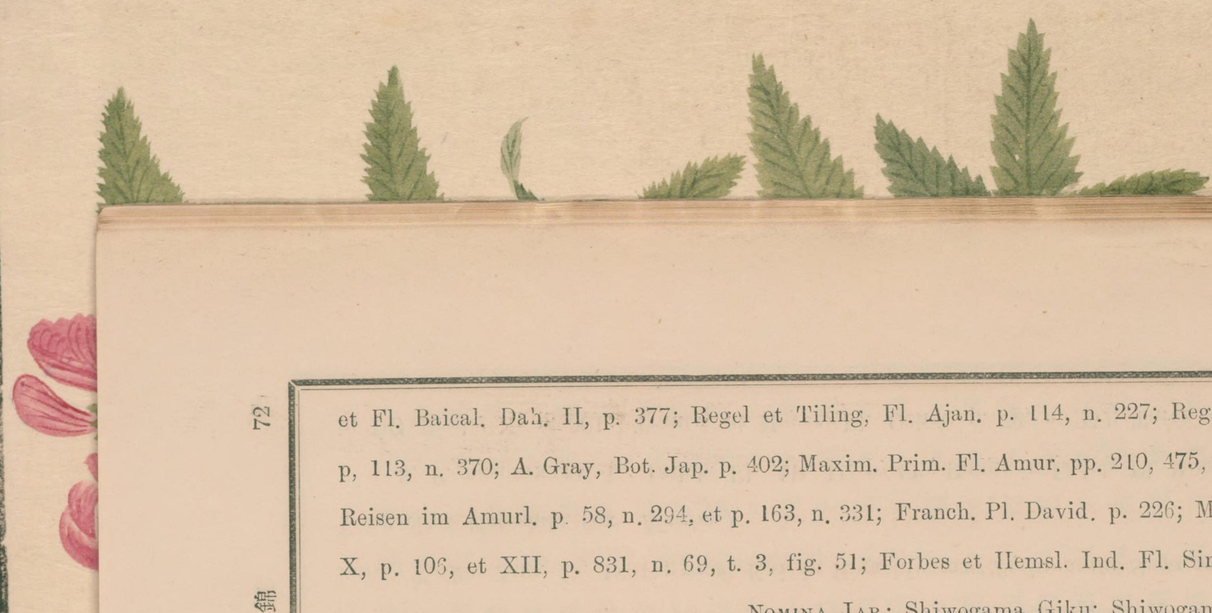
2. P. YEZOENSIS, Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 103, et XII, 1888, p. 832, t. 3, fig. 49; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. II, p. 653.

NOMINA JAP.: Yezo Shiwogama; Shirobana Shiwogama.

Hab. in Japoniae principali insula (*Sukeroku Midzutani!*): prov. Shimotsuké, monte Nikko (*Yudzuru Ito!*); prov. Shinano, monte Komagatake (*T. Ito*, Aug. 6, 1891); prov. Hida, monte Norikura (*T. Ito*, Aug. 19, 1891); prov. Kai, in Higashiyama (*Tschonosuke Sugawa* ex *Maxim.*). Insula Yezo: circa Hakodate (ex *Maxim.*)

3. P. RESUPINATA, L.; Ledeb. Fl. Alt. II, p. 429; Bunge in Ledeb. Fl. Ross. III, p. 281; Benth. in DC Prodr. X, p. 581; Trautv. et Meyer, Fl. Ochot. p. 72, n. 252; Turcz. Cat. Baical. n. 849,

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用



et Fl. Baical. Dah. II, p. 377; Regel et Tiling, Fl. Ajan. p. 114, n. 227; Regel, Tent. Fl. Ussur. p, 113, n. 370; A. Gray, Bot. Jap. p. 402; Maxim. Prim. Fl. Amur. pp. 210, 475, et 484; Fr. Schmidt, Reisen im Amurl. p. 58, n. 294, et p. 163, n. 331; Franch. Pl. David. p. 226; Maxim. in Mél. Biol. X, p. 106, et XII, p. 831, n. 69, t. 3, fig. 51; Forbes et Hemsl. Ind. Fl. Sin, II, p. 214.

Nomina Jap.: Shiwogama Giku; Shiwogama Sō.

Hab. in Japoniae insula Yezo: circa Hakodate *(Small* ex *Maxim)*. Insulis Kurilis (ex *Maxim)*.

Var. oppositifolia, Miq. Prol. Fl. Jap. p. 54; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 108, et XII, 1888, t. 3, fig. 51. Icon. Jap.: Iinuma, Sōmoku Zusetsu, XI, fol. 59; Iwasaki, Honzō Zufu, XIV, fol. 7 verso.

P. resupinata var. glabricalyx et *pygmaea* Miq. Prol. Fl. Jap. p. 54.

P. resupinata Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. I, p. 351.

Per totam Japoniam. Principali insula *(Sukeroku Midzutani! Keisuke Ito! Yudzuru Ito!)*: prov. Mikawa, Hōraiji *(T. Ito,* Oct. 25, 1891), et inter Asuké et Inahashi *(T. Ito,* Oct. 22, 1891); prov. Mino, monte Yōrō *(T. Ito,* Sept. 11, 1890); prov. Shinano, inter Yagohara et Ogiso *(T. Ito,* Aug. 15, 1891); prov. Hida, monte Norikura *(T. Ito,* Aug. 19, 1891). Insula Kiusiu: prov. Higo

(Keisuke Ito ex *Miquel);* monte Nagayama (ex *Maxim.)*. Insula Yezo: Hakodate, Todohiki, et Schuro (ex *Maxim.)*

4. P. Chamissonis, Stev.; Bunge in Ledeb. Fl. Ross. III, p. 274; Benth. in DC. Prodr. X, p. 561; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 90; A. Gray, Synopt. Fl. N. Am. II, pt. 1, p. 306.

Nomen Jap.: yezo-no Yotsuba Shiwogama.

In insulis Kurilis (ex Maxim.)

Var. japonica, Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 90, et XII, 1888, t. 5, fig. 90. Icon. Jap.: Iwasaki, Honzō Zufu, XIV, fol. 8 recto, figura dextra.

P. japonica, Miq. Prol. Fl. Jap. p. 53; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. I, p. 351, et II, p. 653.

Nomen Jap.: Yotsuba Shiwogama.

Hab. in Japoniae principali insula *(Keisuke Ito!)*: prov. Shinano, montibus Ontaké *(Sukeroku Midzutani! Yudzuru Ito! T. Ito,* Aug. 8 et 9, 1891), Komagataké *(Yudzuru Ito! T. Ito,* Aug. 5 et 6, 1891); prov. Hida, monte Norikura *(T. Ito,* Aug 19, 1891); prov. Kaga, monte Hakusan (ex *Miquel, Rein* ex *Franch.* et *Sav.);* Nambu *(Tschonosuke Sugawa* ex *Maxim).* Insula Kiusiu:

ガラス使用
国立国会図書館 タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

prov. Higo *(Keisuke Ito* ex *Miquel).*

5. P. AMOENA, Adams; Bunge in Ledeb. Fl.Ross. III, p. 271; Benth. in DC. Prodr. X, p. 263; Trautv. in Middendorff's Sibirische Reiche, I, 2, pp. 9, 14, et 32; Turcz. Cat. Baical. n. 845, et Fl. Baical. Dah. II, p. 358; Regel et Tiling, Fl. Ajan. n. 225; Fr. Schmidt, Fl. Jenis. n. 177; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 97, et XII, 1888, p. 886, t. 5, fig. 115.

NOMEN JAP.: Yukiwari Shiwogama (mihi).

Hab. in insulis Kurilis *(Steller* ex *Bunge).*

6. P. VERTICILLATA, L.; Bunge in Ledeb. Fl. Ross. III, p. 270; Benth. in DC. Prodr. X, p. 563; Turcz. Cat Baical. n. 844, et Fl. Baical. Dah. II, p. 358; Regel et Tiling, Fl. Ajan. n. 224; Fr. Schmidt, Reisen im Amurl. p. 58, n. 293, et Fl. Jeniss. n. 176; A. Gray, Synopt. Fl. N. Am. II, pt. 1, p. 305; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 95, et XII, 1888, p. 891, t. 4, fig. 123; Forbes et Hemsl. Ind. Fl. Sin. II, p. 219.

NOMEN JAP.: Kurumaba Shiwogama.

Hab. in archipel. Kurilensi: Urup (ex *Maxim.).*

7. P. REFRACTA, Maxim. in Mél. Biol. XI, 1881, p. 289, et XII, 1888, p. 892, t. 4, fig. 124;

Forbes et Hemsl. Ind. Fl. Sin. II, p. 214.

P. verticillata var. refracta Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 95; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. II, p. 653.

NOMEN JAP.: Tsukushi Shiwogama (mihi).

Hab. in insula Kiusiu.

8. P. EUPHRASIOIDES, Steph.; Bunge in Ledeb. Fl. Ross. III, p. 284; Benth. in DC. Prodr. X, p. 567; Trautv. in Middendorff's Sibirische Reise, I, 2, pp. 9, 146, et 157; Trautv. et Mey. Fl. Ochot. p. 72, n. 253; Turcz. Cat. Baical. n. 853, et Fl. Baical. Dah. II, p. 336; Regel et Tiling, Fl. Ajan. n. 229; Maxim Prim. Fl. Amur. p. 210; Fr. Schmidt, Reisen im Amurl. p. 58, n. 295, et p. 163, n. 333; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 112, et XII. 1888, p. 901, t. 4, fig. 136; A. Gray, Synopt. Fl. N. Am. II, pt. 1, p. 307.

NOMEN JAP.: Tsishima Shiwogama (mihi).

Hab. in insul. Kurilis.

9. P.VENUSTA, Schang. VAR. SCHMIDTII, T. Ito.

P. venusta, Schang. *var.* Fr. Schmidt, Reisen im Amurl. p. 163, n. 335; Maxim. in Mél.

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

Biol. X, 1877, p. 122, et XII, 1888, p. 906.

Nomen Jap.: Miyabe Shiwogama (mihi).

Hab. in Japoniae insula Yezo: districtu Kusuri ad Hattanshi *(K. Miyabe)*.

10. P. apodochila, Maxim. in Mél. Biol. XII, 1888, p. 907, t. 6, fig. 149.

P. rubens var. japonica, Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 119; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. II, p. 654.

Nomen Jap.: Koma Shiwogama (mihi).

Hab. in Japoniae principali insula: boreal. Nambu, in alpibus altissimis; et media, sine loci designatione, cum *P. Chamissonis var (Tschonosuke Sugawa* ex *Maxim.)*; prov. Shinano, in alpinis altissimis monte Komagatake *(T. Ito*, Aug. 6. 1891*)*.

11. P. gloriosa, Bisset et Moore in Journ. of Bot., XV, 1877, p. 295; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. II, p. 654; Maxim. in Mél. Biol. XII, p. 913. Icon. Jap.: Iwasaki, Honzō Zufu, XIV, fol. 6 verso.

P. Sceptrum Carolinum Miq. Prol. Fl. Jap. p. 54; Franch. et Sav. Enum. Pl. Jap. I, p. 352; Maxim. in Mél. Biol. X, 1877, p. 126 (quoad pl. japon.).

Nomen Jap.: Hankwai Azami.

Hab. in Japoniae principali insula: prov. Sagami, in turfosis montium Hakone *(Savatier* ex *Franch.* et *Sav.)*; prov. Shimotsuke, monte Nikko *(Keisuke Ito)*; prov. Sagami, monte Ōyama *(Bisset* ex *Moore)*, prov. Suruga, monte Fudsi *(Tanaka* ex *Franch.* et *Sav.)*.

引用書目

(一)寺島良安、和漢三才圖繪第九十四卷第三十六葉裏。

(二)小野蘭山、重修本草綱目啓蒙第十卷第十三葉。

(三)飯沼慾齋、草木圖說草部、第十一卷第五十八葉裏、及第五十九葉表。

(四)岩崎常正、本草圖譜第十四卷第六乃至第八葉。

(五)李時珍、本草綱目第十五卷第二十二葉。

(六)吳其濬、植物名實圖考第十一卷。

(七)Bretschneider in Journal of the North-China Branch of the Royal Asiatic Society, n. s., XVI, part 1, 1881, p. 99.

(八)Forbes et Hemsley: Index Florae Sinensis, II, pp. 204-220, et 236.

(九)G. Don: General History of the Dichlamydeous Plants, IV, p. 230.

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

(十)Bentham in DeCandolle's Prodromus, X, p. 560.

(十一)Maximowicz: Pedicularis Species Asiae Orientalis, in Mélanges Biologiques tirés du Bulletin l'Académie des Sciences de St. Pétersbourg, X, 1877, pp. 80-134.

(十一一)Maximowicz: Addenda et emendanda ad Pedicularium conspectum, in loc. cit., XI, 1881, pp. 278-294.

(十一一)J. D. Hooker: Flora of British India, IV.

(十四)A. Gray: Synoptical Flora of North America, II, part 1, pp. 305-310, et 454.

(十五)Steininger: Beschreibung der europäischen Arten des Genus Pedicularis, in Botanisches Centralblatt, vols. XXVIII, XXIX, et XXX, 1886-1887.

(十六)Maximowicz: Pedicularis synopsis generis nova, in Mélanges Biologiques, XII, 1888-1890, pp. 769-938, tt. 1-7.

(十七)Prain: Species of Pedicularis of the Indian Empire and its Frontiers, in Annals of the Royal Botanic Garden, Calcutta, vol. III, 1891. (I have not been able to see this book).

(十八)A. Gray: Diagnostic Characters of n. species of Phaenog. Plants coll. in Japan, in Memoirs of the American Academy of Art and Sciences, vol. VI, 1859.

(十九)W. J. Hooker: Catalogue of Japanese Plants, in Hodgson's Residence at Nagasaki and Hakodate, p. 339.

(一一十)Miquel: Prolusio Florae Japonicae, p. 53.

(一一十一)Franchet et Savatier: Enumeratio Plantarum in Japonia sponte crescentium, vol. I, p. 351, et vol. II, p. 459 et 653.

(一一十一)Bisset et Moore, in Journal of Botany, vol. XV, 1877, p. 295.

其他各種ノ引證書名ハ本文ニ詳ナリ。

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

釋名　馬新蒿　練石草　爛石草　虎麻

和名　シホガマギク　ホシホガマギク

本草綱目巻之十五時珍曰蒿象如馬矢故名馬先○禹錫曰二
月始生七月花花似胡麻花而紫赤八月生角似小豆角鋭而長
三月實ヨリ生ス初生ハ苗葉紫黒色ニシテ葱倭ヤナリ葉ノ形ハ矮生ノ
陰地(シカケノワラビ)藜ニ似テ毛茸多シ五月莖高サ一尺圍莖紫色茸毛ヤリ葉亦漸ク
大ニシテ葉梗ニ野蒿藜ニ似テ長葉對スル四箏頗藜ハ大ナリ形亦同シ面緑色
ニ紫色ヲ帶フ皆ハ白ヲシ全葉長サ二寸余小葉長サ七分中五分許毛茸ア
リ而葉ヅ四面ヨリ相對シテ十字狀ヲナス八月莖梢數枝ヲ生ス各小葉ヲ
互生シテ淡紅花ヲ開ク形チ脂麻(ゴマ)ノ花ニ似テ小ナリ長サ六分二出上下シテ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

一瓣上ニアツテ帽ノ如シ一瓣下ニ在テ舌ノ如シ本尚ニシテ裏ヨリ翻落ヲ吐ク蕊極茎黒心葯ハ淡紫粉紙茶色莟立出長サ三分花落テ角ヲ結ヲ形千糊實赤糊實ニ似タリ長サ三分先尖心十月實熟テ黄色折テ細子數百アリ地ニ落テ自ラ生ス種植心テ忌ム移ヲユレハ必枯ル〇一説ニコレヲ角莟高三尺一種白花大ニホカニアリ形状全ク同ニシテ唯花白キノミ

角蒿

和名未詳

漢名未詳

下品ノモノヲ

ヒメこもだ

(第)宗葵 (系)葵

コデナデシコ

キセキチク

ユキノシタ

イヌガラピ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

立山
黄花馬先蒿

北越山陰

馬先蒿

和名類聚鈔 艸二十 木部

馬先蒿 陶隱居本草注云馬先蒿一名爛石草 和名比木與毛木

本草和名 艸中 馬先蒿 一名爛石 出陶景注 一名鹿麻 一名馬夫蒿

一名爛石草 出蘇敬注

和名波々古久佐

醫心方 馬先蒿 和名波々古久佐

類聚名義抄 八 中 馬先蒿 ヒキヨモキ 爛石蒿 同

類聚名義抄 僧上 馬先蒿 ヒキヨモキ 爛石蒿

色葉字類抄 馬先蒿 ヒキヨモキ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

○按ニ馬先蒿ハ洗耳ノ説ニシホガマギクナリ通
常波々古久佐ハ嵐爛ニシテ同名異物トス
又比木與毛木亦同名アリ犬蓬即チ菴
簡又茵蔯（カハラヨモギ）此称アリ相混スヘカラズ」

○シホガマサウ
シホガマギク　江ノ　トサカバナ
トサカグサ　ヨドリサウ　江ノ上ノ
ハコクサ　輔仁本中　ノコギリサウ　江ー
「ペヂキュラリス」　トツサカキソヤゴ系

馬先蒿　三画

山中向陽溪側ニ生ス春宿根ヨリ苗ヲ生ス高一二尺葉形榆葉
ニ似テ長ク岐涼クメ細鋸歯毛茸アリテ枝葉繁布ス八月
葉間ニ花ヲ開ク大ハ七八分豆ノ花ノ形ニ似テ壓（ツブレ）扁之如シ紅
紫色花後小莢ヲ結ブ長ニ三分ニノ尖レリ内ニ細子アリ花葉
トモニ美ナリ葉ニテ見ルトキ玄参ニテ塩ガテサウト名ク
一種ハ山嶽田原ニ産スルモノハ高四五寸ニスギス

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

一種葉細ニノ莖葉トモニ絶テ帯デ白
一種四ツ葉シホガマ 馬山嶽白山ニ生ス四葉対生シ莖梢ニ萎花
アツマリ開モノアリ

馬先蒿 シホガマキク 白山ニ生者常品ニ日ノ花色淡紫色者
紅色者アリ越中立山産者葉微小ニノ黄花ヲ開
○重葉馬先蒿 立山頂上白山頂上陽地ニ生ス一処ニ三五
莖叢生莖円ク高サ尺許葉一処ニ四葉対生メ五六層ヲナス
形状馬先蒿葉ノ如ニノ岐深ク細ク分レ緑色ニノ紫ヲ帯六月
梢ニ三寸許ノ穂ヲナシ花ヲ開馬先蒿花ニ似テ瓣短濶ク
紅紫色花モ重層ヲナシ四五花一処ニ附五七重トナル甚
美也

北越雪譜

北海ノ眺海紀名
○シホガマサウ(馬先蒿)ノ属ニシテ
高サ一二寸許ノ茎ノ梢ニ穂ヲナス
シベリヤ ビトレカイ(産)

駒嶽ニ産ス

シホガマ 御嶽

Pedicularis Keiskei, Fr. et Sav.

尾張伊藤圭介之記

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

一種葉細ニノ莖葉トモニ繁ヲ帯テ白茎ヲ開モノホタケ田原ニ産
一種四ツ葉ニホガマ 伊吹山嶽白山ニ産ス四葉対生シ莖紫色稍ニ紫花
アツマリ開モノアリ

馬先蒿 シホガマキク 白山ニ生者常品ニ日ノ花色淡紫色者
紅色者アリ越中立山産者葉微小ニノ黄花ヲ開
○重葺馬先蒿立山頂上白山頂上陽地ニ生ス一処ニ三五
莖叢生シ莖円ク高サ尺許葉一処ニ四葉対生メ五六層ヲナス
形状馬先蒿葉ノ如ニノ岐深ク細ク分レ緑色ニノ紫ヲ帯六月
梢ニ三寸許ノ穂ヲナシ花ヲ開馬先蒿花ニ似テ瓣短濶ク
紅紫色花モ重層ヲナシ四五花一処ニ附五七重トナル甚
美也

Pedicularis Keiskei, Fr. et Sav.

86

尾張伊藤圭介之記

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

一種葉細ニノ莖葉トモニ繁ヲ帶テ白芒ヲ開モノホタケ田原ニ産
一種四ツ葉ニホガマ 伊吹山嶽白山ニ立産ス四葉対生シ莖繁多梢ニ繁花
アツマリ開モノアリ

馬先蒿 シホガマキノ 白山ニ生者常品ニ日ノ花色淺紫色者
紅色者アリ越中立山産者葉微小ニノ黄花ヲ開
○重葺馬先蒿立山頂上白山頂上陽地ニ生ス一処ニ三五
莖叢生シ莖円ノ高サ尺許葉一処ニ四葉對生メ五六層ヲナス
形状馬先蒿葉ノ如ニノ岐深ノ細ノ分レ緑色ニメ紫ヲ帶六月
梢ニ三寸許ノ穂ヲナシ花ヲ開馬先蒿花ニ似テ瓣短濶ノ
紅紫色花モ重層ヲナシ四五花一処ニ附五七重トナル甚
美也

Pedicularis Keiskei, Fr. et Sav.

86

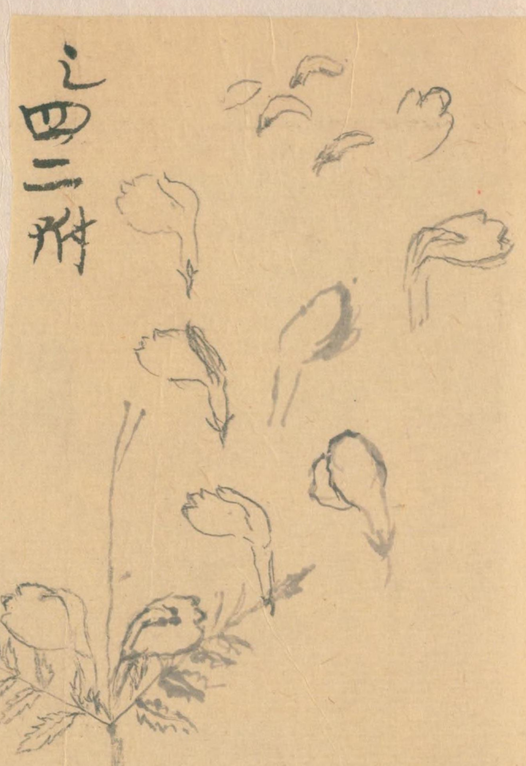
○馬先蒿　山上ニ生ス形状恒品ニ同ク葉長一寸幅三分許
花亦常種ニ不異淡葉色モ紅色ノ者モ此ト雖ト云

ニホンマツバ一種
御嶽田ノ原ニ多ク山高
白花ヲ開ク
茎葉ニモニ紫色ヲ帯ル

シヤマニホンガマ
オホバニホンガマ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

沙再
459

Pedicularis Keiskei F. et Sav.

沙氏説中。
雨岳ニ多シト
アリ又オホシホガマ
ト掲載セリ

篤新定
沙氏所説ノ
形状ニ合ス
葉柄對生、
葉裏ニシ
其各小葉
八枚針狀
六個乃至
九個小葉ノ
結ニテトアリ
其他説皆合ス

駒ケ岳ノ産

ミヤマホカマ

88

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

ヨツバシホカマ
四葉萌生し茎紫色稍氏に對生アリ高ン

Pedicularis Japonicus, Miq. 牧 351. 宮 53.

鴎外定

89

和名 ミヤマシホガマ
漢名 馬先蒿ノ類
洋名

綱目

形狀

科

産地 御岳獄 駒岳採

オホヾシホガマ

ミヤマ シホガマ

主駒岳獄不所見他山ニモ
ヘンモ有リ観

ヨツバトレ草

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

汾 35491
(寛 53

牧氏ノ形状説明ニ合セ鱗葉ト出ノ件和ヒ合ス

牧氏定 Japonicus, Miq.
Pedicularis ~~Keiskei, Franch. et Sav.~~

二冊アリ

参考部手

ヨツバシホガマ 牧富助氏 下総 得

Pteirospermum (Yotsubashiogama) Makino

90 4/3

1-2-

四葉シホガマ 馬先蒿一種

四葉シホガマ 馬先蒿ノ一種

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ワラビこおかさ
又手遠こ指似タリ

92

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

メブリサウノ

メブリサウ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

猪芽菜 六月

Pletheixol permum
Chinense Bunge.

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

雑草物

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

メブリサウ

メブリサウ

花薄紫

メブリサウ

山野ニ生ズ

伊吹山　南勢内瀬

関ヨリ伊賀へ行路加ブト太ノ

也濃州御嵩ノ也津格ノ

内モロノキトコ所

本曽田立　関ニ留野ヨリ奥川へ行路

子

宿子地ニアリテ春ノ末ニ苗ヲ生シ

紫花ヲ開ク肥ルモノハ三尺ニモ及ブ瘦タルハ二三寸ニテモ花アリ莖葉トモ

毛茸アリ陽地ニアルモノハ莖葉紫色ヲ帯ブ

和多郡須佐小佐

也白花ノモノアリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

メブリサウ

メブリサウ

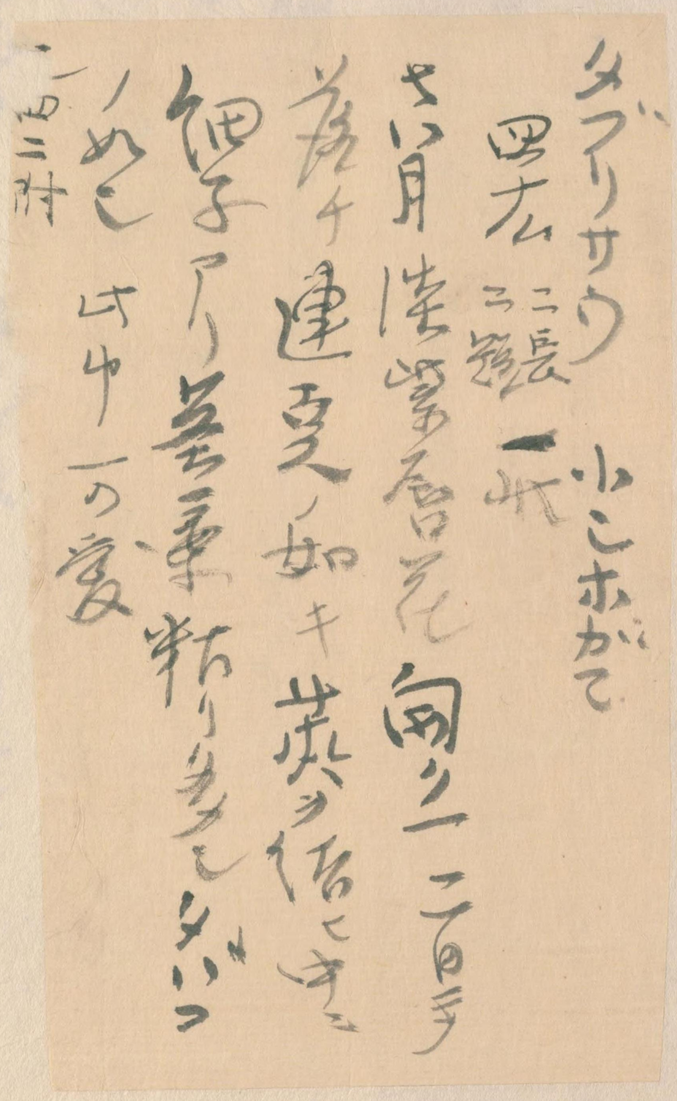
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

馬矢草

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



○タブリサウ　コシホガマ　トサカ

山野ニ生

葉　高二三尺肥ルモノハ三尺ニモ及ビ葉ハ箱子状ニアリテ春未ダ苗ヲ生リ雪霰霜降ノ候ト雖葉間ニ花ヲ開キ陽和ノ候ニアルモノハ葉ニ付ケヲ帯ブ後葉ヲ落

多種雪霜自ラ茎ニ止ホカラ牛ク
冰ニ閉メラレカヤウニ茎ヲ抱ク
抱ニシホガニモ

コシホガマ　右ハ高物葉飛ニ出

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

虎麻芫蒁

釋名　　馬矢蒿

蘭山箱曰山中多生向陽溪側赤多春宿根生苗高二三尺葉似楡葉長岐深細鋸齒毛茸枝葉繁布八月葉間有花大六七分花形壓扁紅紫色花後結小扁莢長二三分而頴夾外有細子

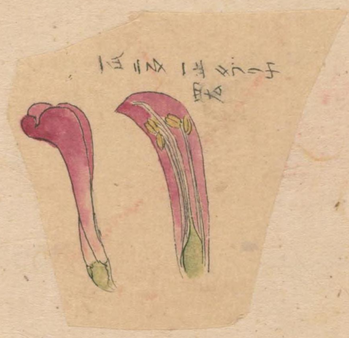
三月宿根ヨリ叢生又葉ハ楡ノ葉ニ似テ鋸齒アリ長サ一寸八分濶サ八分齒毎ニ小齒アリ皆色ウスシ葉ノスジノ如キスジアリ綠色ニシテ光澤ナシ毛茸アリ莖ハ高サ壹尺壹寸ニシテ淺綠色而葉ヲ對生シテ莖梗長サ四分淺綠ニシテ毛茸アリ莖ハ高サ一尺余數莖叢生シテ葉間毎ニ筒狀ニ雜上ハ帽ノ如クニシテ右ノ如キ雜アリテ長サ八分花口四分淺紅色ニシテ毛茸アリ心葉ハ一角ノ頭ニ出頴莢四ツ白色紅ヲ帶ル箱様茶黒葉ハ黄緑ニシテ五出又毛茸アリ下ヨリ開テ頭ニ至ル花ノ後ヲ結熟スルトキハ黄黒色中ニ細子アリ秋ニ至テ枯ル根枯ス

一種　富山ニ出ル者アリ莖方ニシテ毛茸アリ葉ハ楡ノ如シ花葉紅色形狀似テホソリ葉扁毎ニ七八花ヲ開クホ

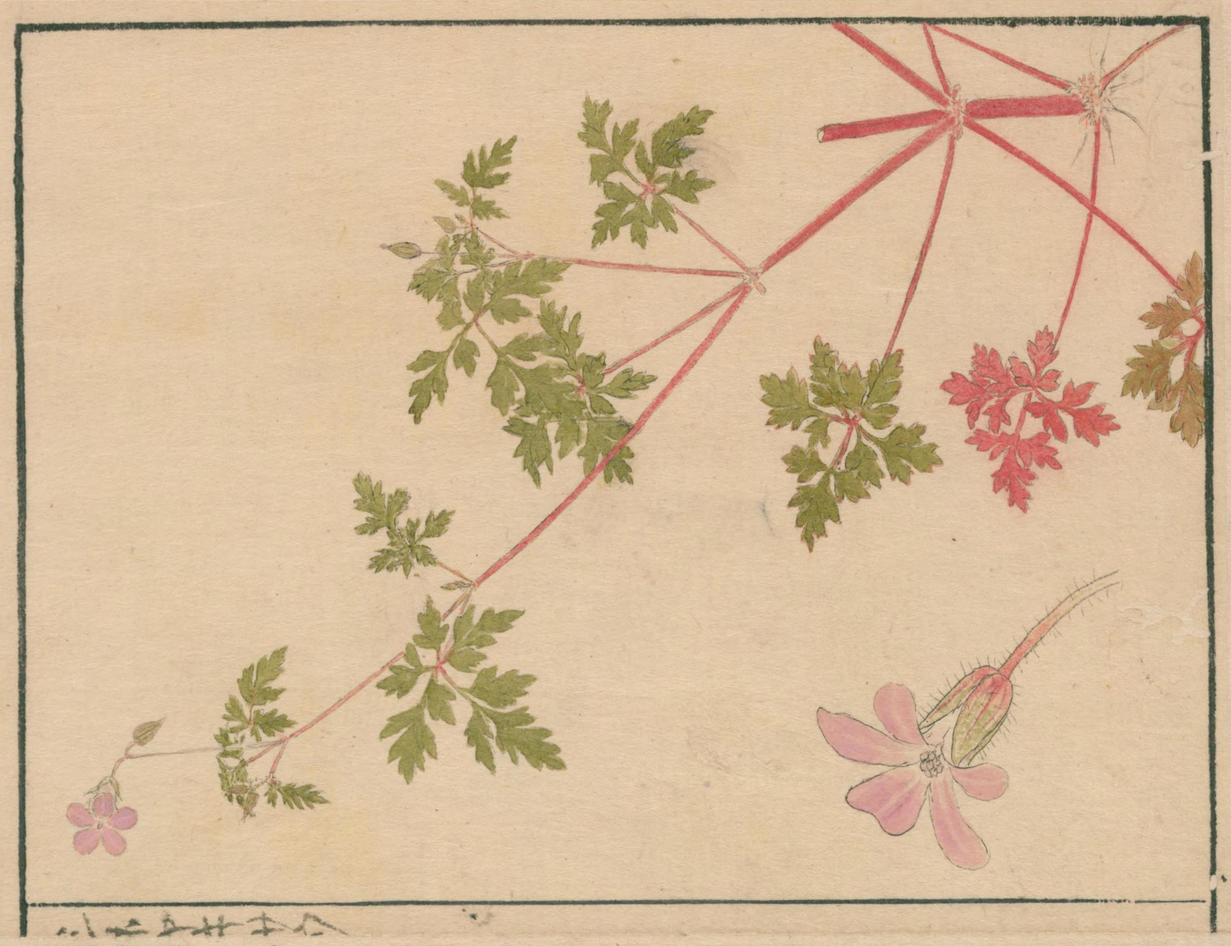
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

Pedicularis.



Pedicularis



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

漢名紅魚腥草

四三

園ニナニ

ホソバ

ナンバンハコベ

漢名紅魚腥草

園ニナニ

ホソバ

ナンバンハコベ

漢名紅魚腥草

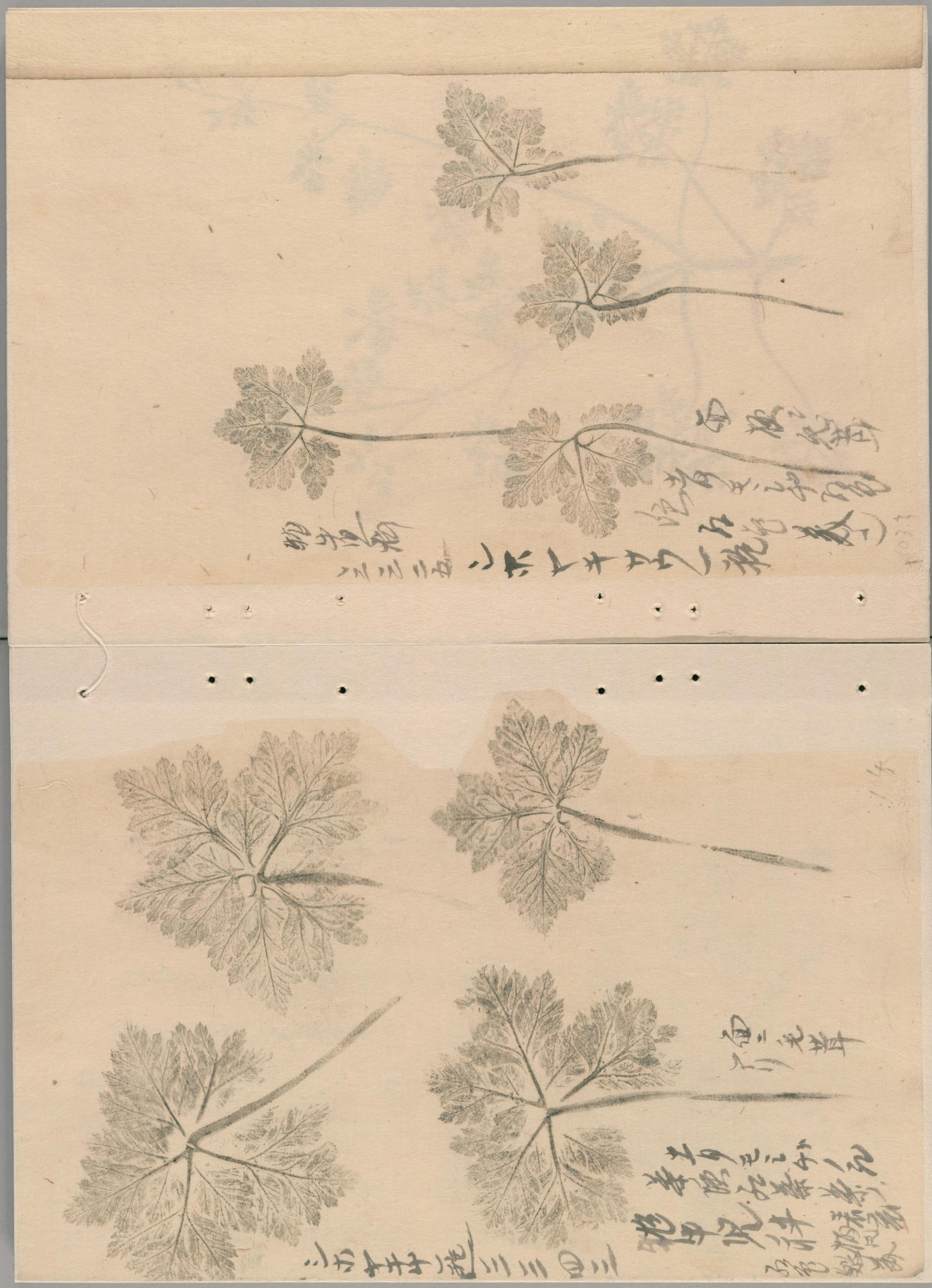
ミヤマナンバンハコベ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

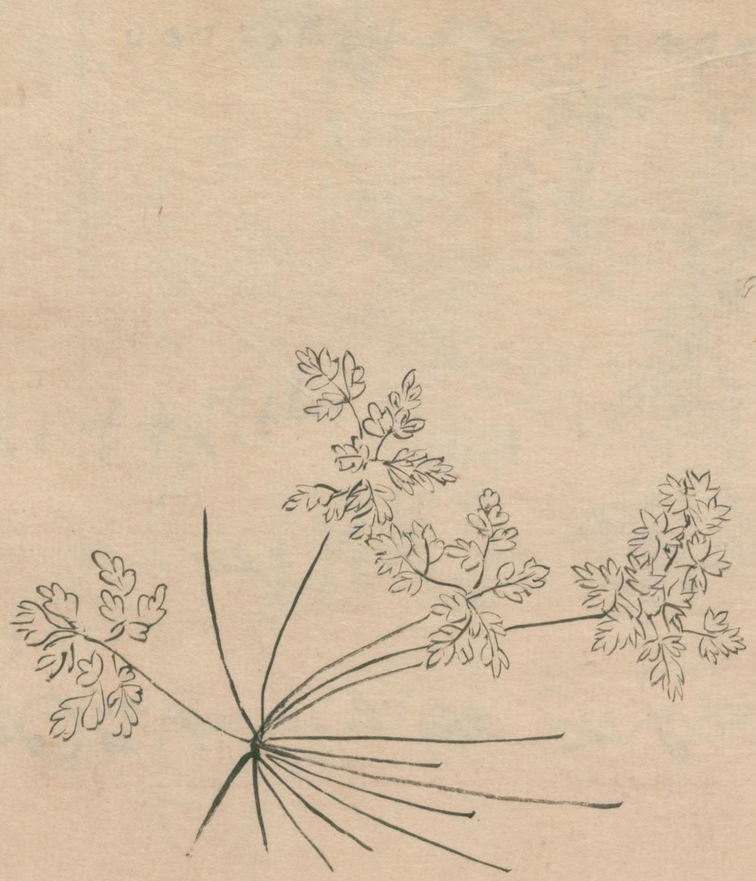


ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ヒメフウロ　牻牛児苗　枚荒ノ本条ニ
此他ノフウロサウハ皆一ノ一種ニ亡羊説
シラヤキサウ　牻牛児一統水谷多キ処
椿葉ニ　伊吹ノ産ナリ
Geranium Robertianum, L
Zoëde Oj'Khangbek　的當ナラン
ラスカ地ニ因ツテシホヤキサウ、同ケラニウム
心異ナリ　葉ニ毛ナキ（才之図）
分布広ク一元和ナリシ事ナルベシ
フロラニウム　メイレいホいウム
（最モ、大ニ似タル多形多キ
ヲ以テ（参図）
ロフルチャニウム　しい葉ニ於テ
ミヤマキケマ
105

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用



シホヤキサウ　ヒメフウロ

江州伊吹山自生アリ

代三

（花）ミナシ
カニテ　ニおやキサウ

シャウシャウフウロ

シホヤキサウ

○シホヤキサウ　ヒメフウロ　シャウ〳〵フウロ

イブキ小陽ヨリ
尺余　初冬ヨリ
小暑前後

元等云ヒメフウロ、此荒ノ形牛兒苗本ノ条ノ他ノ品皆一種ノ

伊吹ノ産
シホヤキサウ
莖赤シ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

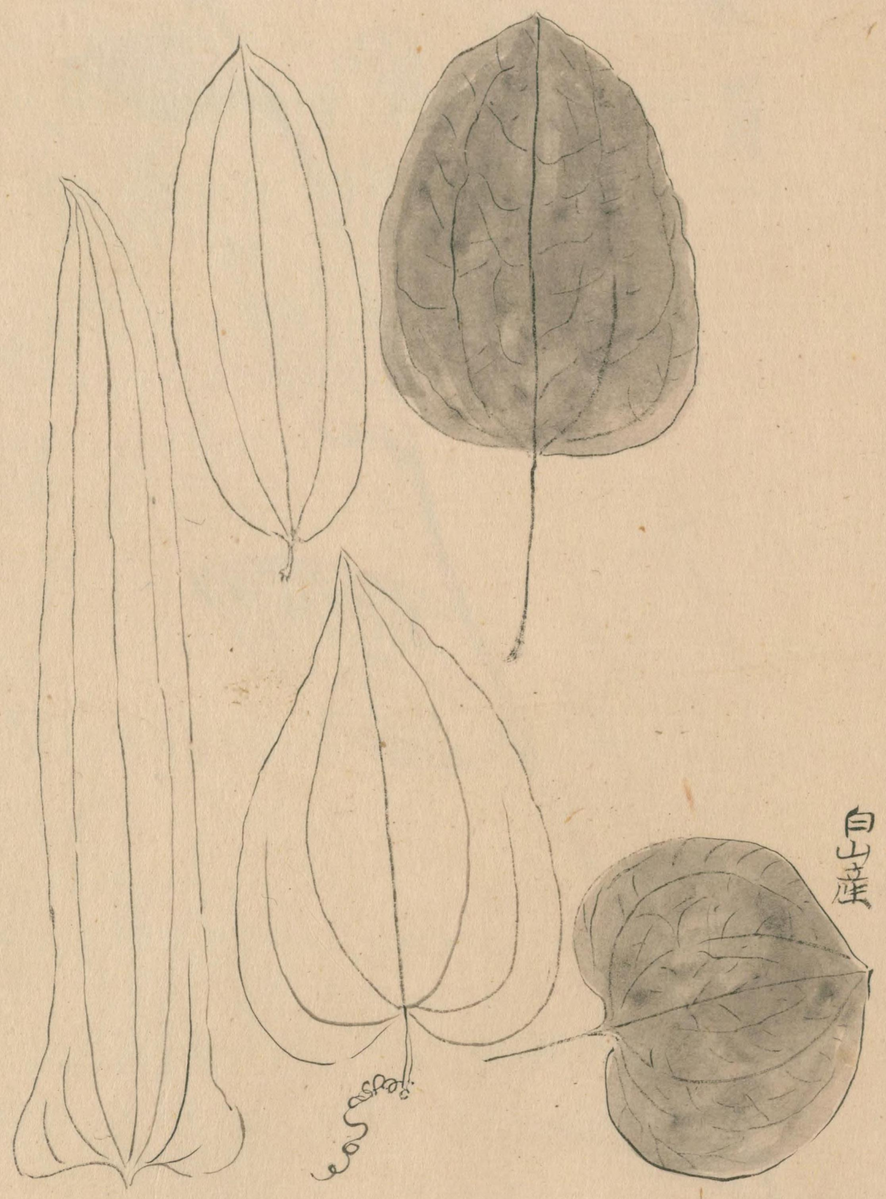
ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

シホデ

しおやまこ敦

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



牛尾菜　三倍天

一名尾菜　ヒオウチ　日芝ミラ　姫菜　ヤマトラノオ

真方山谷處々生ス自春至夏引蔓長及數尺葉長者五六寸闊三寸許短小者長三寸許闊不過一寸葉々相對三四寸細纖如絲能連絡物而形頗葵莢識者宜詳

1103

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

四四

牛尾菜　四月

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

牛尾菜

シシヨデ

宿根ヨリ春苗蔓ヲ生ス葉葭葉ニ似テ縦紋
多ク柔軟ナリ故ニ苗葉採リ日光邊ノ土民煠キ食テ
葉大者四五寸柔ニシテ皺アリ互生ス葉本ニ鬚アリテ物ニ
纏フ花ハ葉間ニ生シ二三十攅簇ス形色トモ五加花
ニ似タリ後實ヲ結フ豆ノ大サ初青ク熟シテ黒色ナリ
一種細葉ノ者アリ竹葉ノ生ズルニ似タリ花戸土茯苓ニ似タリ花戸土茯
苓ニ倣ル然レ𪜈自別ナリ並ニ葉𪜈ニ冬枯ル

救荒啓蒙ニ

牛尾菜 シホデ

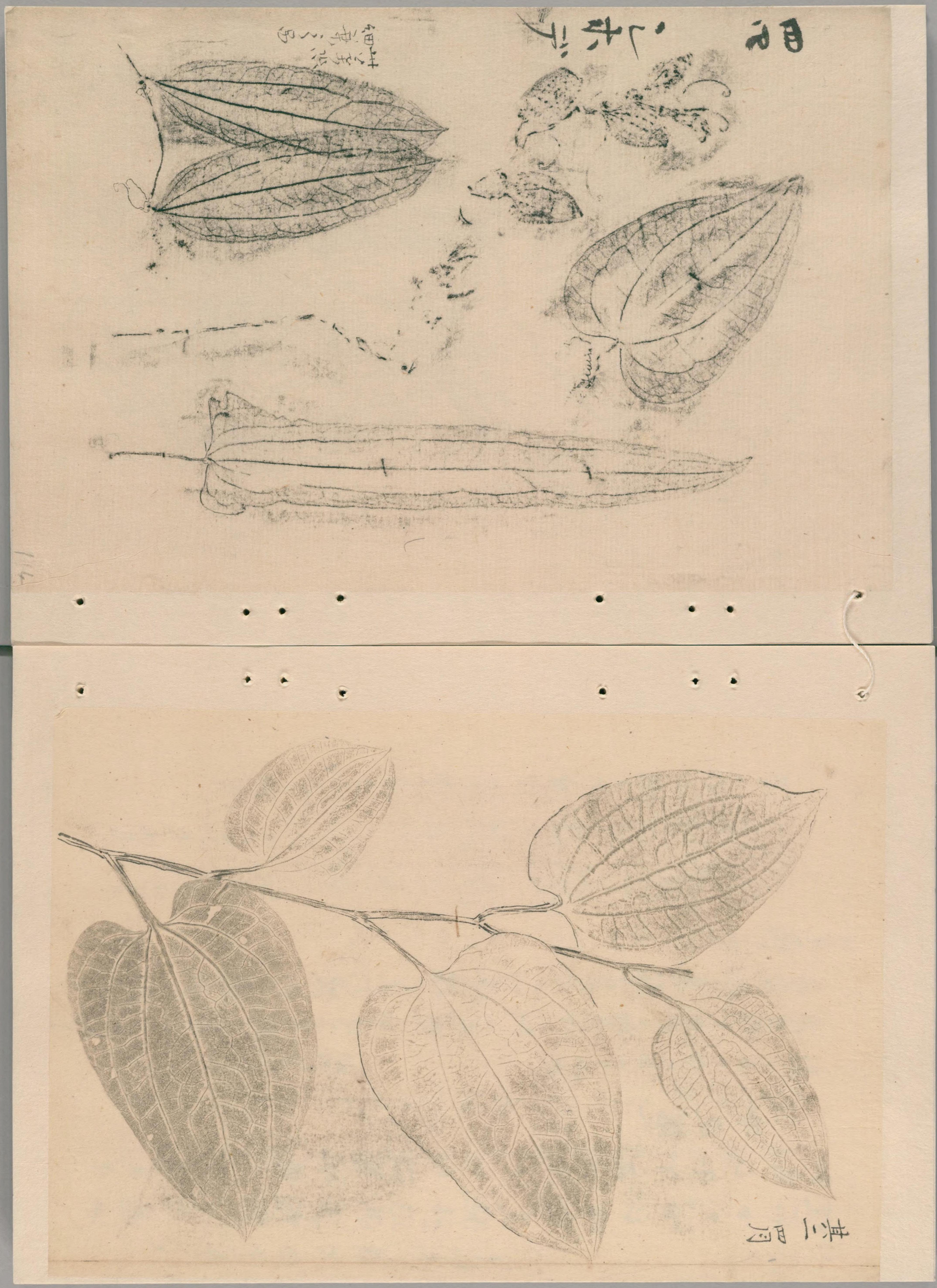
蔓又莖ニ刺ト蔓ト有リテ竹木ニ纏フ葉竹葉ニ似テ薄軟ニ縦通アリ
夏月梢ヨリ葉間ニ細葉ヲ出ス瓣ナシ花裏リ開後實ヲ結ノ房リナス初緑色
熟テ黒ノ雫天子ヨリ小也

熊野物産初志一

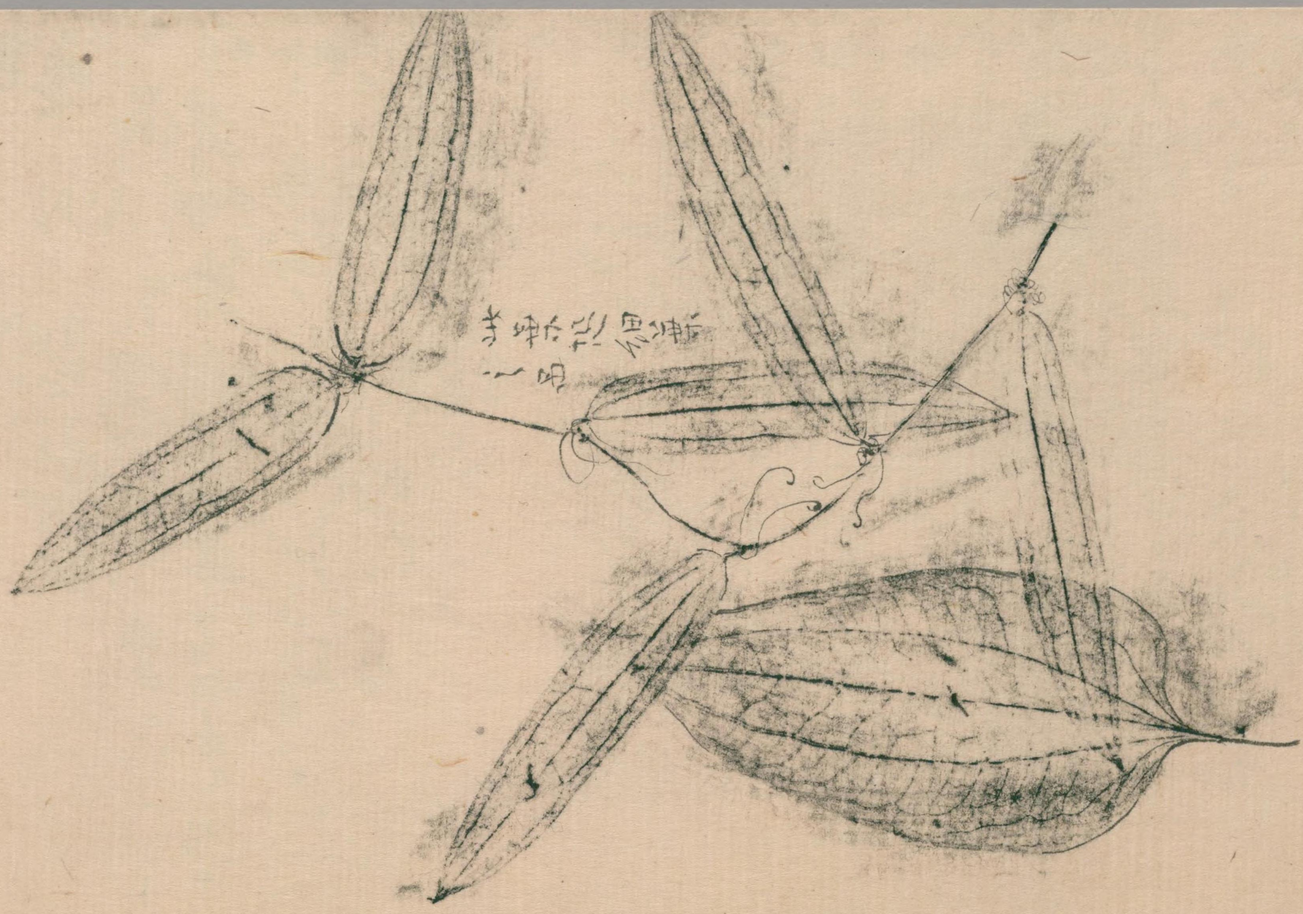
牛皮蔓

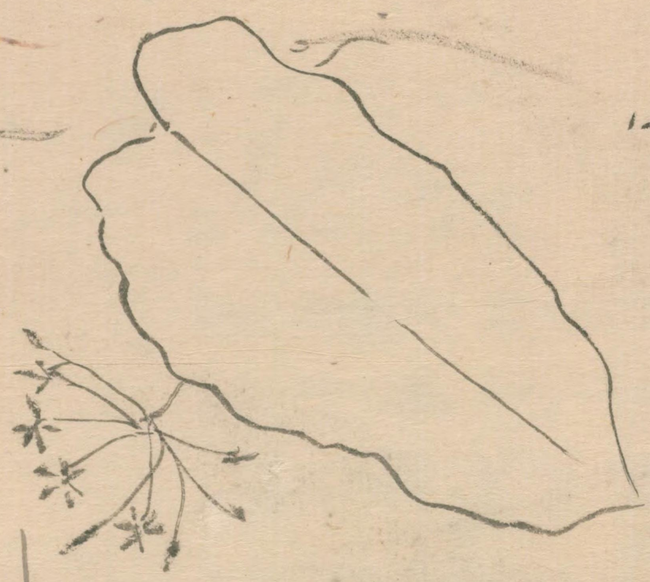
和名シホデ又カモメヅル救荒本草ニミユタリ
煤茹トスデシ味ム美能治ニ凡濕去煖熱ノ奇藥也

廣大和本草ニ



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

牛尾菜 シヨデ

諸州山陰尤多シ春宿根ヨリ苗ヲ生ス肥者ハ高三四尺蔓生ナリ葉形土伏苓(サンキライ)ニ類シテ円者アリ長者アリ細長者アリ葉間鬚ヲ生シ絡フ四月葉間細緑花ヲ開ク花後実ヲ結フ土伏苓莢蒾ノ如シ熟黒色ナリ根白薇徐長卿等ニ類ス秋苗枯ル

救荒本草

牛尾菜 シヨデ

蔓草ニ宿根ヨリ苗ヲ生ズ葉ハ薇ニメ綫脈多シ又ホウテヤク葉ニ似テ葉大ニ薄ク黒ニ互生シ毎葉鬚頭有リテ物ニ巻キツク莖ノ葉間ニ二三十モ攅(アツ)ル花ハ葉ノ形色共ニ五加花ニ似テ白シ花ノ後豆ノ如キ実アリ初青クシテ熟メ黒シ京ノ毎園山ニ多シ一種細葉アリ竹葉ノ如シ花ヲ二三ツ土莽蒾ニ似テ葉蔓共ニ冬枯シ春宿根ヨリ生ズ又

土

尚文館

116

蔓高二丈モノハ葉細メ竹葉ノ如シ三筋ノ脈透リ有レバ小筋皺ノ様ナレバ土莽蒾ニ能ク似レド花得ト見レバ違フ○金剛刺ハ薇葵ニ

シヲデ

○ヲシデ　ガンドシ　尾ー高免　クサカラダケ　江ー上ノ
シウデ　ホソノジリ　渋ーカシモ
アニドロ　キソユノ子沢
「スミラクス　プセウドシナ」

牛尾菜
葉間伸ル鬚馬ノ鞍ノ形ニ似タリ故名　又牛尾ノ如故名ク
小暑前後

一種セイキウサウ　セニ出

シホデ　牧荒ノ牛尾菜一名龍鬚菜汉山道傍ニアリ小枝契（サルトリイバラ）
ニ似タル葉ナリ少シ長ミアリ大和本草

牛尾菜（ホデ）

実

1117

シオデ
牛尾菜

118

牛尾菜一種ヤマトロハ特生牛尾菜ト、別カ

牛尾菜

和名シホテ救荒本草ニ見タリ苗ノ高サ二尺許蔓ニ似テ蔓ニ非ス葉萩葵ニ似テ小ク條理アリ萩葵ヨリ柔ニシテ他草ヨリハ硬シ葉間ヨリ細鬚ヲ出メ物ヲ纏フ黒実ヲ結フ

119

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

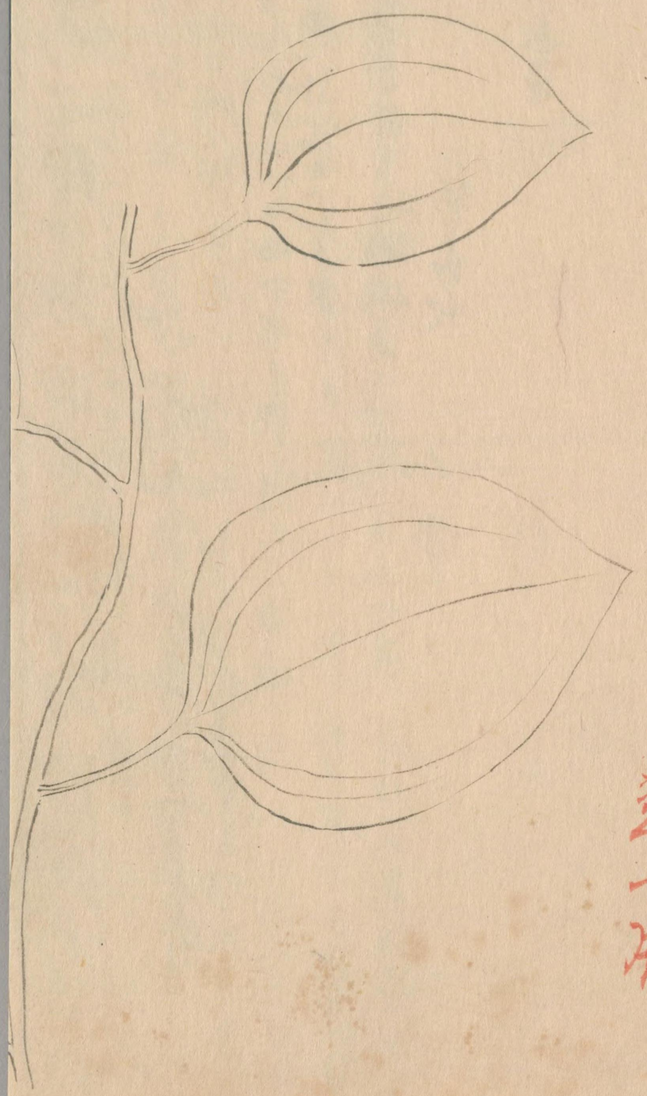
ガラス使用

一才度牛尾菜ニモ似テ小ク作ル
(形様色ノ)
ノ如キレホデトモ小ク連生ス
ル毎ニレホデハ何ノ
葉片リ茎モ軟ニ
開ク 俗呼ンデ
茎堅メ木特生ニ花三月開ク
牛尾菜ノ一種ナリ

牛尾菜 水煮ヨリ
ハ莖長ク葉形ハ円葉
リ鋸歯ヲ
ナリ葉毎ニ
聚リ開白色ニメ淡紫
子ヨリ小ニメ熟ス黒シ一種竹
アリ土茯苓ト見違ヒモアリ京都
塊アリ小ホデニ
賀茂ノ根ニ

草木
牛尾菜

牛皮菜



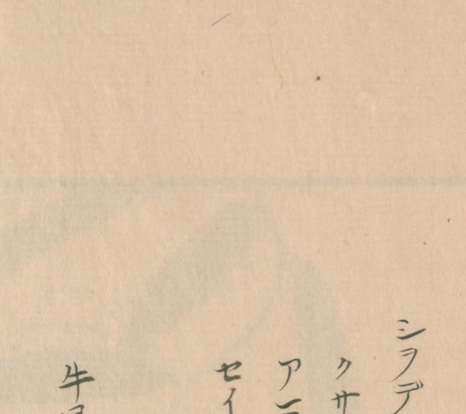
牛皮菜 シホデ 越後山中ニ生者尋常ノシホデト異ニメ葉厚ノ
殆葵葉ニ似タリ又細葉葉厚者アリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

シラデ
クサカラタチ　江州上野
アヽトコロ　木曽湯舟沢
セイキウサウ

ミウデ　木曽野尻
濃州河合
ガンヒジ　尾州高蔵寺

山トロヽ　濃州白谷　細葉ノモノ　一種



牛尾菜

本文ニ引トコロノ金剛刺葉ハ技契ノ事也本條ハ蔓草也舊根ヨリ苗ヲ生ス葉イビツナリニソ竪筋多シホウチヤク草ノ葉ニ似タリ又圓葉モアリ長ク大ナルハ三四寸許リ葉ニ離多シ葉薄ク黒ミアリ豆生ニ葉毎ニ鬚アリテ物ニ纏フ花葉間ニ三十許リ簇リ咲後豆ノ如キ実アリ初青ク後黒シ貴布禰ニ多シ一種細葉ノモノアリ竹ノ葉ノ如シ花ハニテ上筑冬トシ偏ル皆冬ハ枯根ハ残ル葉間曲タル鬚馬具ノ轡ノ形ニ似故ニ名ク又牛ノ尾ノ如キ故牛尾菜トヲ

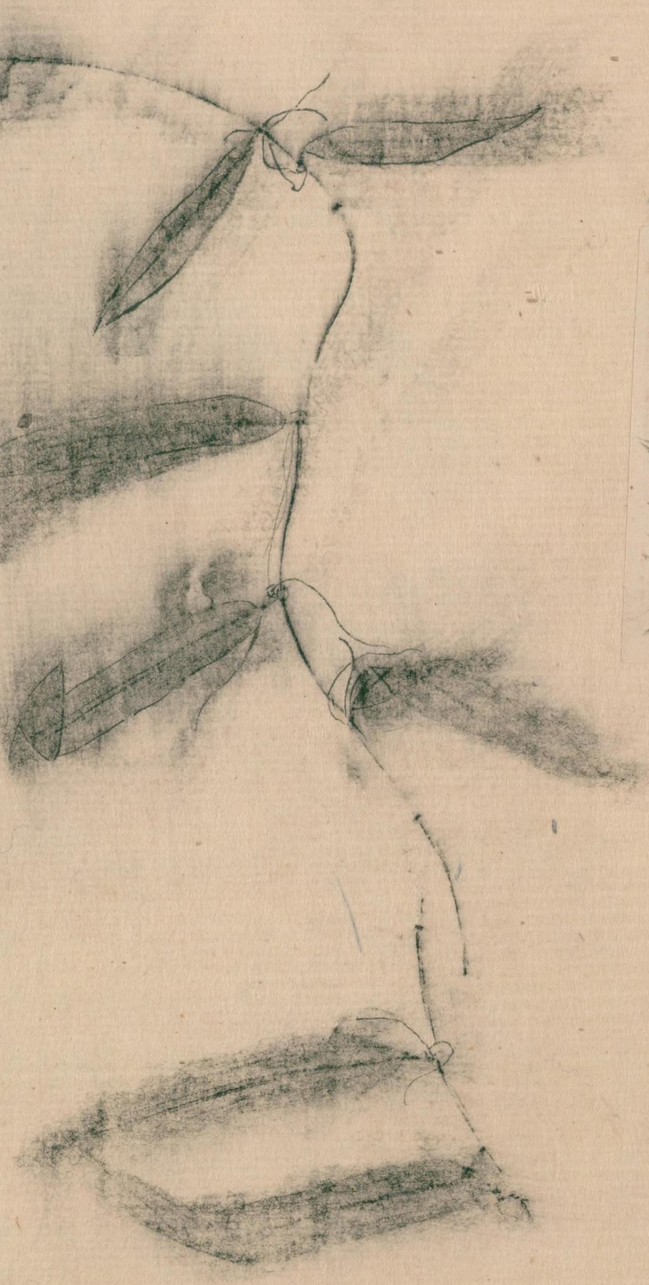
明治十五年八月富士へ行ク道
甲州街道武ケ小仏峠ニテ
採ル
笠之助記

Imilax Sieboldi.　雄本

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



Smilax ligoïnsis Ing. 篤定 125

124

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

細葉シホデ

葉厚

○越前國　拝林及金剛ニ産者草本ニシテホデアリ　樹下ニ生ス高サ一尺許梢ニ三葉互生ス葉軟ニメ円長　鬚蔓ナシ莖円

細葉シホデ　新

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

128

忘草に紫苑　和名ノシヲニ　字鏡　カノシタ

古今名物　みちのくにていと古郷の花見んとて
時平歌合　秋の野に色ある露をおきつゝと若紫の花ぞ
俗に此草をおもの忘草といふ奥義抄より出て誤れる
おもの忘草といふ其物をかくみて悪口する古言也
万葉の歌に忘草我下紐に付たれど
此歌の心は憂事有てそれを忘れたく思ふに萱草を帯る
とのことをもていふつきて其草を佩たれども其かひの
ありうう

○紫苑　下學集

ふくて来ん忘草されば彼の萱草を罵てかくいへる歌なり袖中抄

白北三

紫菀 和名類聚鈔 巻二十 草木部
紫菀 本草云 紫菀一名紫蒨 七見 又和名能
新撰字鏡 紫苑 加乃志乎多 又俗云之乎迩
本草和名 草中 紫苑一名 一名青苑 一名白苑 出陶景注 一名女苑 出
一名織女菜 出兼名苑 一名紫青 出雑要訣 和名
乃之

醫心方 一 紫菀 和名乃之
類聚名義抄 八中 紫苑 今名苑子 紫蒨 紫菀 一名
類聚名義抄 八 紫苑 ミヤマヰノヱ谷云 ミヤニ

康頼本草 紫苑味苦辛温無毒 和乃之
色葉字類抄 ㇒ 紫苑 ミヤマヰノヱ
延喜式 三十七 典薬 諸国進年料雑薬 山城国紫苑三
斤 大和国紫苑六斤 相模国紫苑八両 美濃
国紫苑 北斤 伯耆国紫苑二斤 美作国紫苑二斤
十両 備中国紫苑六斤 備後国紫苑 十三斤
後頼口傳 即無名抄 上 ㇒ 我下紐よ ㇒ ㇒ ㇒

心まおれも事ハ云れさるとて紫菀と墓のほとりに植て見
けるにハ年〳〵其ほとりをとをくさりて見えす又墓の中より聲ありて我ハ此の親の尸をま守る鬼なれハ恐るゝこと勿れ君をまもらんと云けれハ君ハ親よ孝ありて
聞とりけれハ君ハ親よ孝ありて
こゝろ安しそのゆゑハ同〳〵戀悲ミて見えすとの
れ草とうるてもるしを得たるに
もるしを得ゝ〳〵志ねむこゝろ
ゝん我の躰を得たれともも
日のうちの事とさることあるを見る所あり夢をもて
ものさんとそひてやみぬ

八雲御抄 三上 紫菀 おなのおこ草
袖中抄 一 おなのこ草
分撥云 おなのこ草
ゆきさし紫菀と鬼のおこ草といふ
うきても此草の歌よかめりし中暑
をもおなのおこ草これい
[redacted]ノ国[redacted]ノ郡ニ住ム人有ケリ男子二人カケル其父失ニケ
ハ其ノ二人ノ子共憲と悲ミ事年ヲ経ルトモ忘ル事先カリケリ
昔ハ失ヌル人ヲハ墓ニ納メケレハ此ヲモ納メテ子共祖ノ憂ニキ
時ハ朽具ニテ彼ノ墓ニ行テ涙ヲ流シテ我カ身ニ有ル憂
ヘヲモ歎ヲモ生ケル祖ナトニ向テ云ハム様ニ云ツヽ返ケル而ル間

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

志をゝ ノシ

本和上十三 紫苑乃之 和 紫苑 能之俗云 之平近

三帖一ゟ 秋の野の笹原風吹くもおうき 名

渡るかな又むさきのそれゆひつつけ

ふく結ひあくき 古今 物名 をとこをにひそうりろひよる

伊勢集 今昔物語 廿二ノ廿 船恒集一ノ廿

紫菀草本 二三月ノ根とゐ植へ志ち へ細き茎と切まぜ

植べし溝泥又魚汁等を灌てよし 挿芽も勇

漸ノ年月積テ此ノ子共公ケニ仕ヘ

共有ケレハ」以下 女又ノ兄カ一ヘマク

祖ヲ意ワルニ懸リテ ヨリ曰ヲ暗レ夜ヲ曙レ ミッ

モ我ハ更ニ祖ヲ意ル心不忘ミキ思テ紫苑ト

ル人心ニ思ユル事ハ不忘サナレ紫苑ヲ墓ノ邊ニ植テ常ニ行ク

見ケレ於ヨ忘ル、事 死カリケ中暑

故也 然レハ喜キ事有テム人ハ紫苑ヲ殖テ常ニ可見ト憂

有テム人ハ萱草ヲ殖テ常ニ可見ト

古今集 和哥十 物名 志をゝ

語り傳ヘタトヤ

もゝ人もゝん

ゝ

ゝはへてき故ゝの花見んと来ゝをにわひそ移ろひける

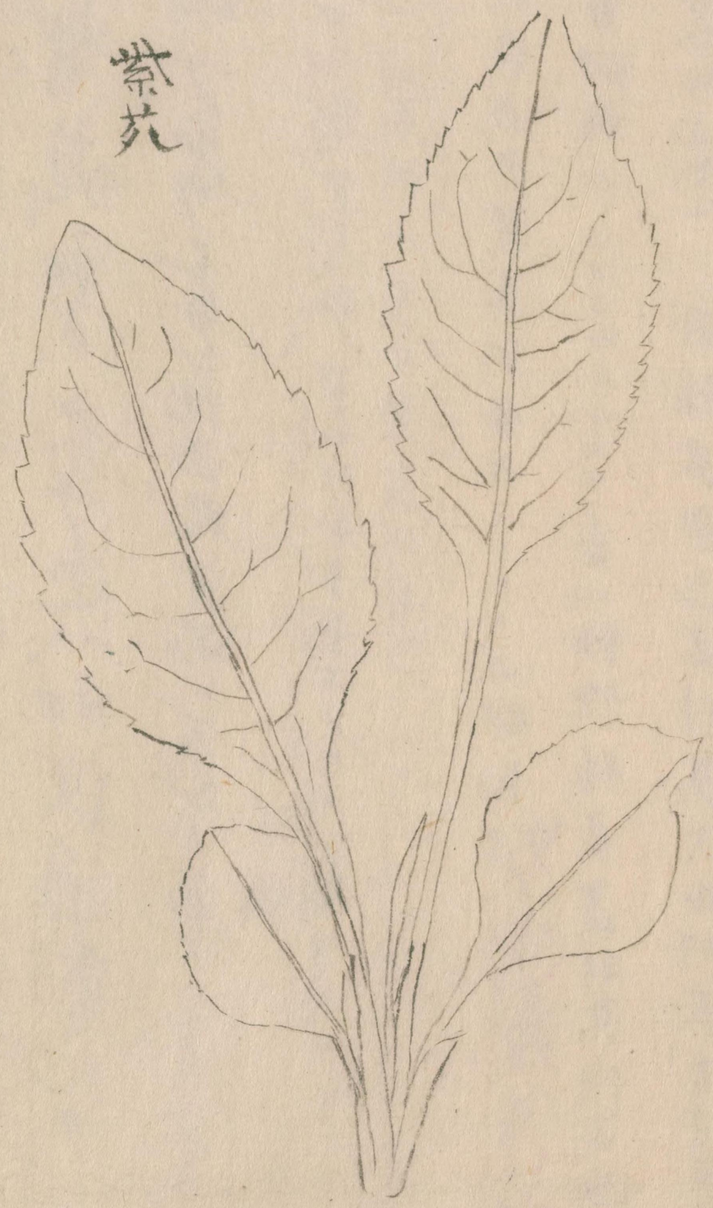
和歌六帖六 志をゝ

ゝ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

紫苑



肉.

秋の野の草葉をみなもかりそめ
ちらぬるもみつる色をいろとせ
ずとふくるうつる花の色□も

○紫菀、和名、之乎迩ハ和漢通称ニシテ、シヲン
ト呼ブハ支那ノ名ナリ、是ニ二種
少ナル者アリテ、コレヲシヲント云ニ今ツ稱ノ者ナリ」

132

○加乃之多　出字　鈔深井曰乃志倶為紫苑今俗以音稱
古今曰ミヲニ　俊頼為鬼之志許具左由阿為オモヒクサ今
昔物語云　ウレヒワスレクサ者一時野語爾蓋非其別名也
○甸羨乃賀之波赤名ーーーー二物同名

志をに　和名抄ニ為紫苑の音也といへる夜の色ふかく河海ニ
表すいろ裏そえき也とそへたり古今集　枩の名ゟも
枩とよめる葉小ニ葉ゟを白花ゟを姫紫苑と呼ゟ女苑とも
苑のそのゝ黄苑ゟ釈名の青苑も又別種也花の色緑也
○反魂草も同類也本草ニ為

和訓栞巻ノ十

かのこたしをに
ノレ

字茶苑 加乃志太 又紫苑 加乃志太

紫苑（むらさきのふ） おみの志こ草と云 古今集ふくむらさきのふとよめる花紫

おみのしこくさ ニコノシコクサニ十三ヲ行ニアリ

大和物語 藻八廿一紫苑 勅植名彙 百四五十一

紫菀 オニノシコクサ物名ニシヲニト詠スル音ノ轉スルナリ

紀伊國

熊野

觀音寺ニテ一叫中草花トイヘルコトヲヨメル

名所草木考 二

散木集 ヲ三

まくはゆ乃小叫そゐふりてふく叫乃はっやまたてるおかみ志こ草

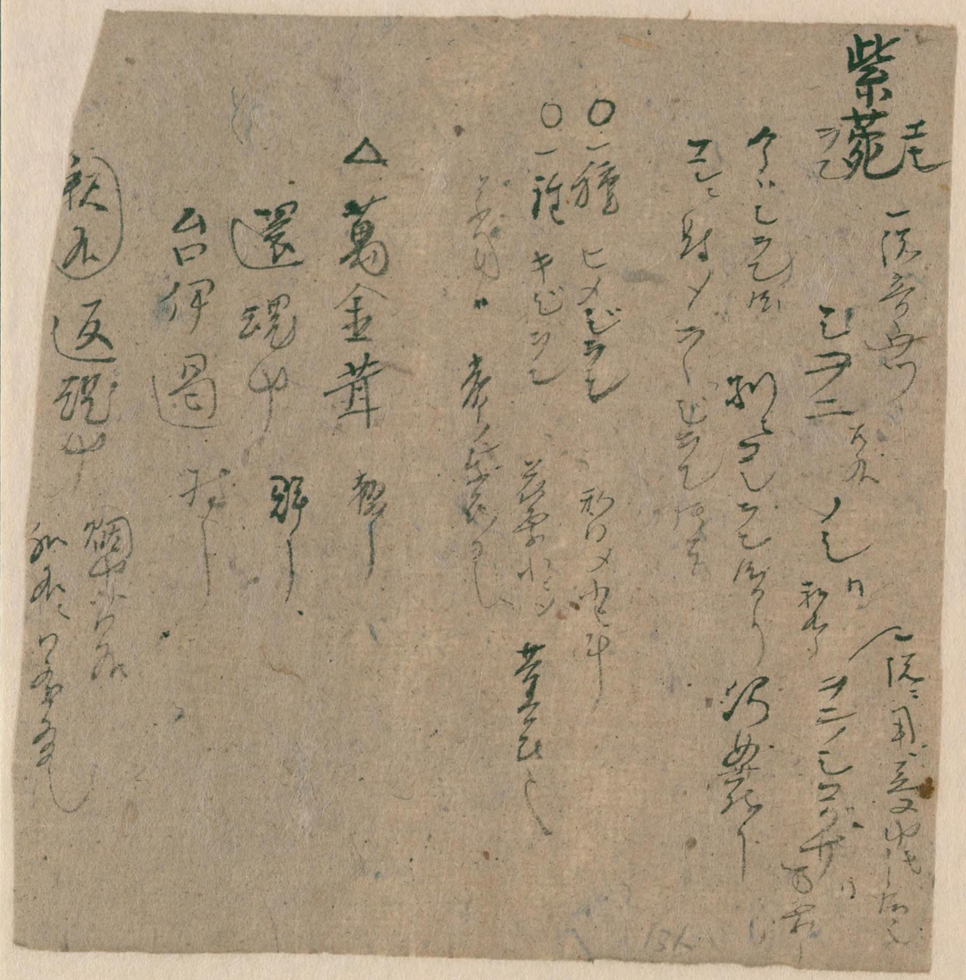
紫花　通名

城市村落人家多種之春月宿根生苗甚茂葉似土木香而色深緑葉面麁澁而有鋸歯其間二三寸長一二尺夏月分枝互生十葉莖高又五六尺七月莖端群開紫花大如錢形似鷄兒腸花

常陸物産志八ニ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



紫菀

ムラサキ

ヒヨウ

ヒメジョオン

ハルジオン

ムラサキ

ヒヨウ

ヒメジョオン

ハルジオン

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

能之 和名類聚抄 能之俗云平
速

鬼毬女草 今林良材集曰花小のこと
ものこと八紫花乃名
也初冬ものもし敷ハ敷
くみるへこうそうそ
能之 本草曰蘭塩
茎曰らんは梅をふくむ
とこのうんこそむのまふりうる
平みとうけるものをーむ
ーをんをーをよ
とふりかー
仙草多
花天白略緋こ
ほー倭男久
勇知ふし回

ハ
ハ
ハ

紫菀　ヨメナシコグサ

人家園圃ニ植ユ春舊根ヨリ苗ヲ叢生ス高サ五六尺葉形土木香ニ似テ堅剛其色深緑根葉長サ三尺莖ニ生スル葉ハ小ナリ秋枝ヲ分チ莖梢花ヲ簇生ス形色雞児腸ノ如シ

昌平坂学問所

立小ニノ葉モ狹キモノヲ女菀トニ花白シ

葉ヤハラカナリ　又澤シヲニアリ草

立小ニノ葉ニハリ秋淡紫花ヲ開ク

倉卅ト名ク濕地ニ生ス　小野氏

牡根菜トモ又黄菀アリ葉ノ形異ニノ皺アリ七月末黄

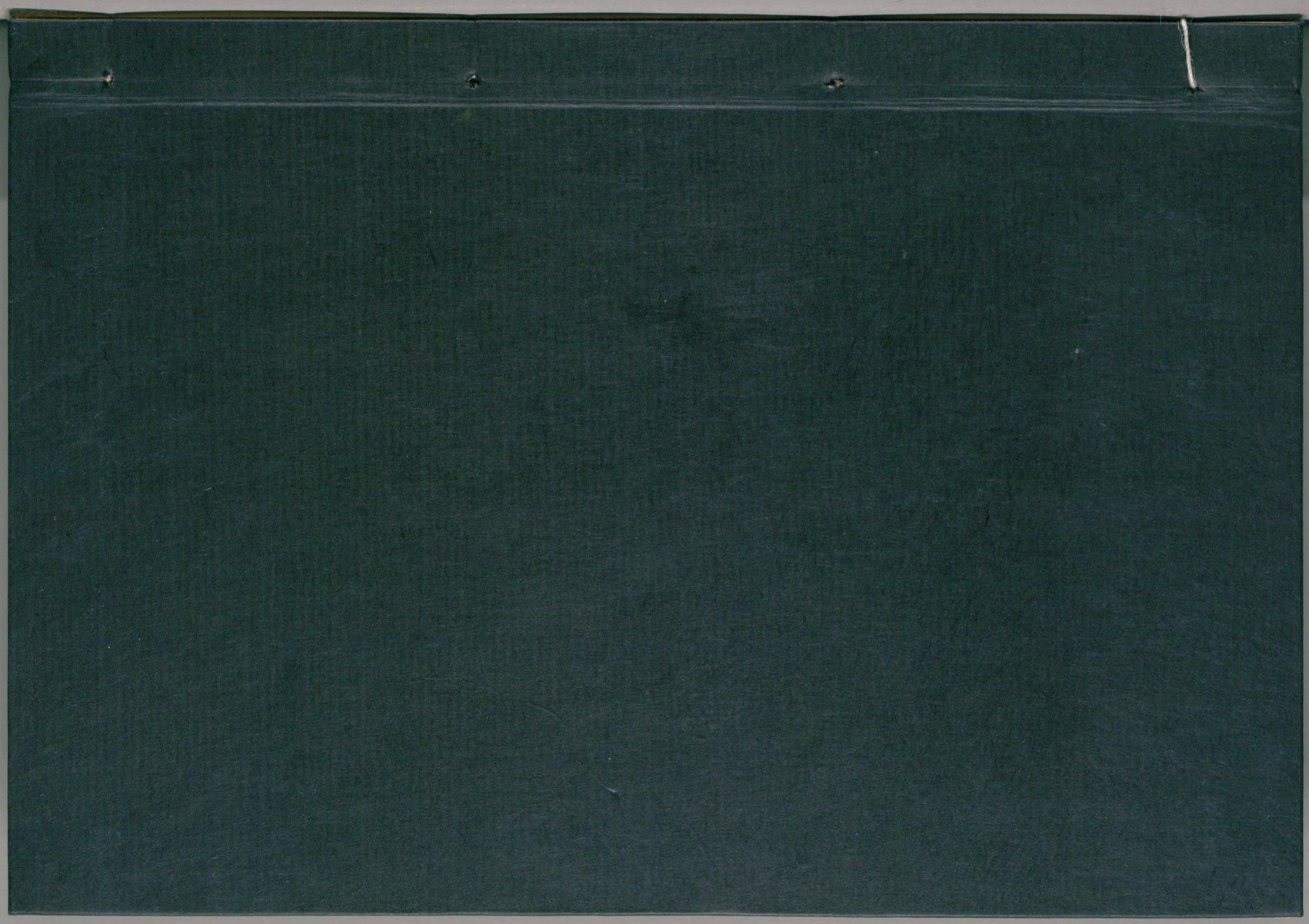
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

別6
9
(226)

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用